

●怪奇SF長編衝撃作!!

デラックス
カスタム版

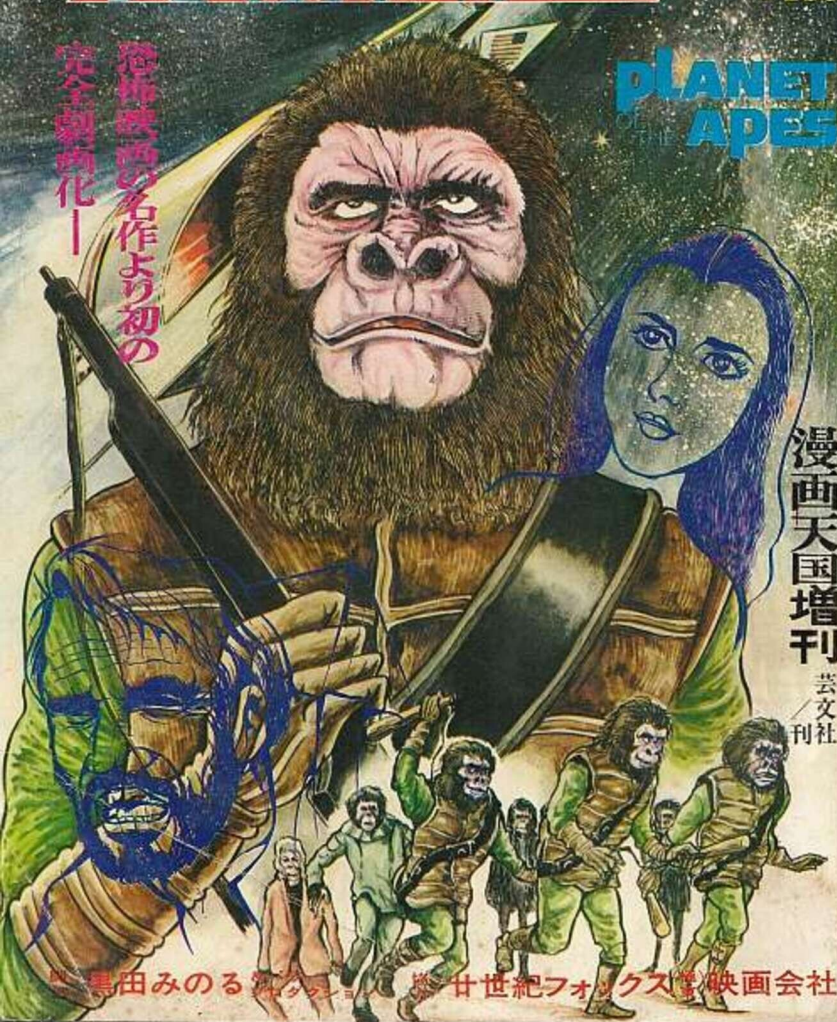
特価
¥200

猿の惑星

PLANET
OF THE
APES

恐怖映画の名作より初の
完全劇画化—

漫画天国増刊
芸文社
刊



監修 田みのる 脚本 山根 隆 作画 廿世紀フォックス映画会社

●怪奇SF書下し長編●

猿の惑星

CONTENTS

第一部

- 1 不時着＝木乃伊が語る謎の惑星 P.3
- 2 猿人国＝恐怖を呼ぶ人間狩り P.39
- 3 獣の檻＝屈辱を重ねる人体実験 P.71

脚色/黒田みのる パワープロ
ダクション

第二部

- 4 嫌疑＝許されざる者の裁き P.151
- 5 脱出＝さまよえる死線 P.187
- 6 禁断区＝開かれた聖域 P.219

協分/廿世紀フォックス(株)映画会社

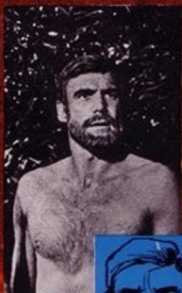
猿の惑星



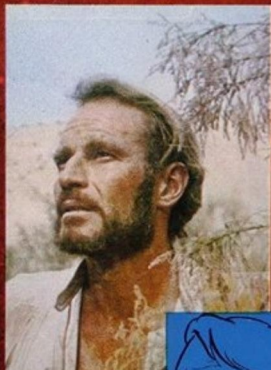
PLANET OF THE APES



■ドワン
(黒人)



■ランドン



■ティラー(隊長)
この物語の主人公で
猿人からは“光る目”
と呼ばれる



おもな登場人物(?)紹介



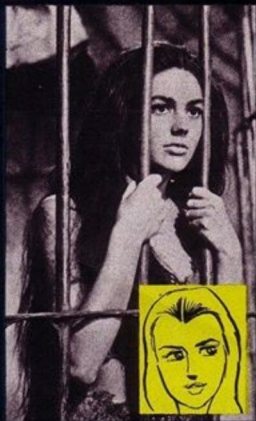
■ルシアス



第一部



■ ノバ



■ シーラ(女猿人)



■ コーネリ
アス(男猿人)



脚色
構成

黒田みのる

——スタッフ——

色彩
構成

桑原正治

密画

大沼密

くわずる修二

古出幸子

進行

黒田奈保枝

製作

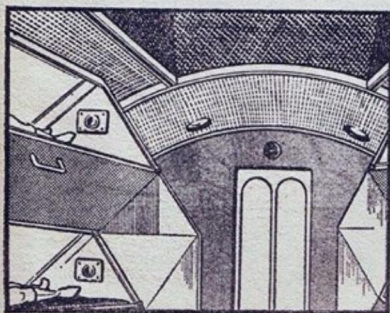
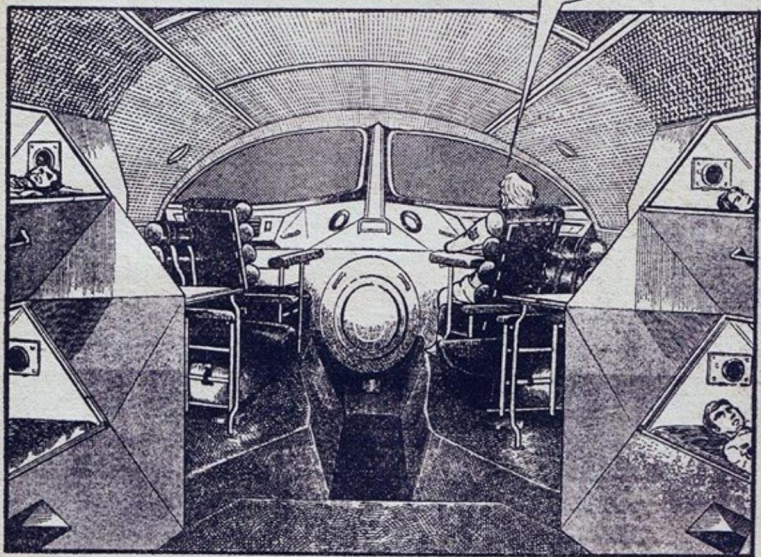


プロダクション

第 1 章

不時着 = ミイラ木乃伊が語る謎の惑星





七百年の歳月がたった

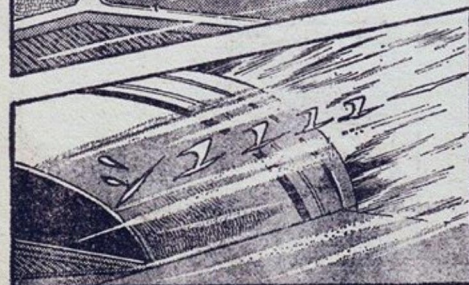
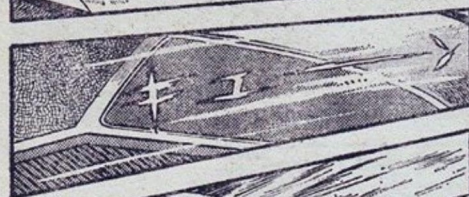
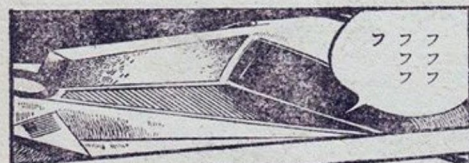
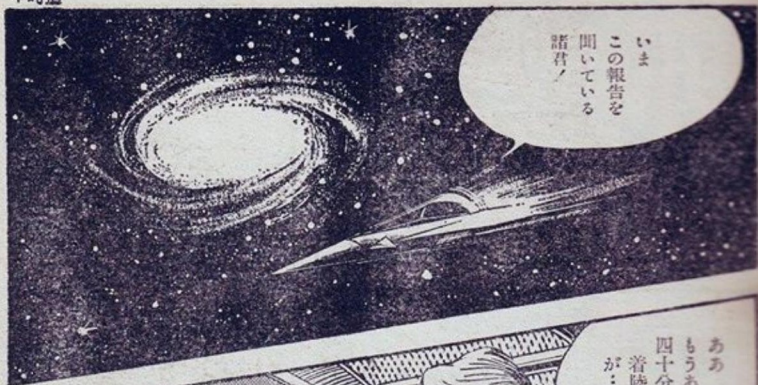
た筈だ

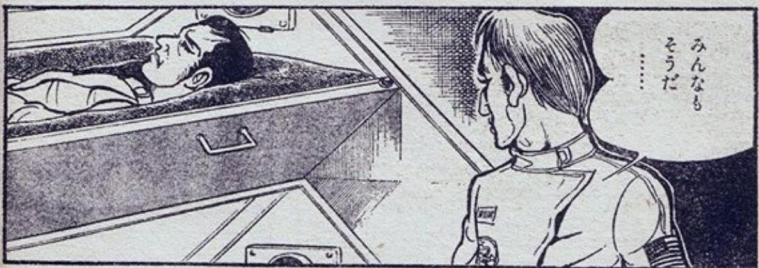
だから地球時間では二六七三年

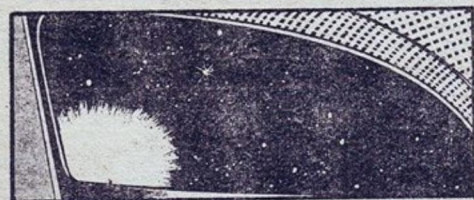
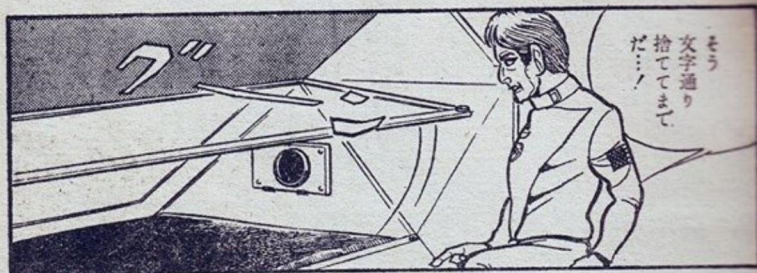
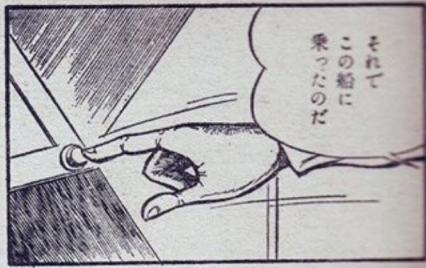
三月二十二日になる!











ここから
見る宇宙は
時間がゆがみ
すべてが
異って見え
る……



私は
科学者
なのに

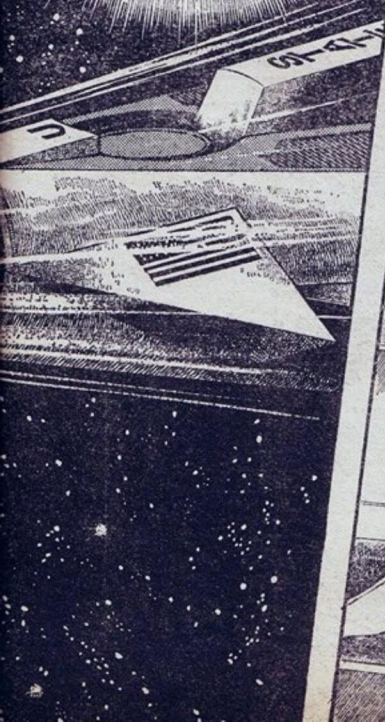
科学的で
あるはずの
見方が
いつか消える



この六ヶ月
宇宙は
神秘そのもの
だった……
そしてその中に
厳しいが限らない
生命のようなもの
を感じてきた



その生命は
広く永遠で……
自我を粉碎し
人間を孤独に追いやる……



だが
その孤独感が
同胞に戦いを挑み
隣人の子を餓えさせて
いる
人類の恥だ！

私は……
いや……
われわれは恥じた
……

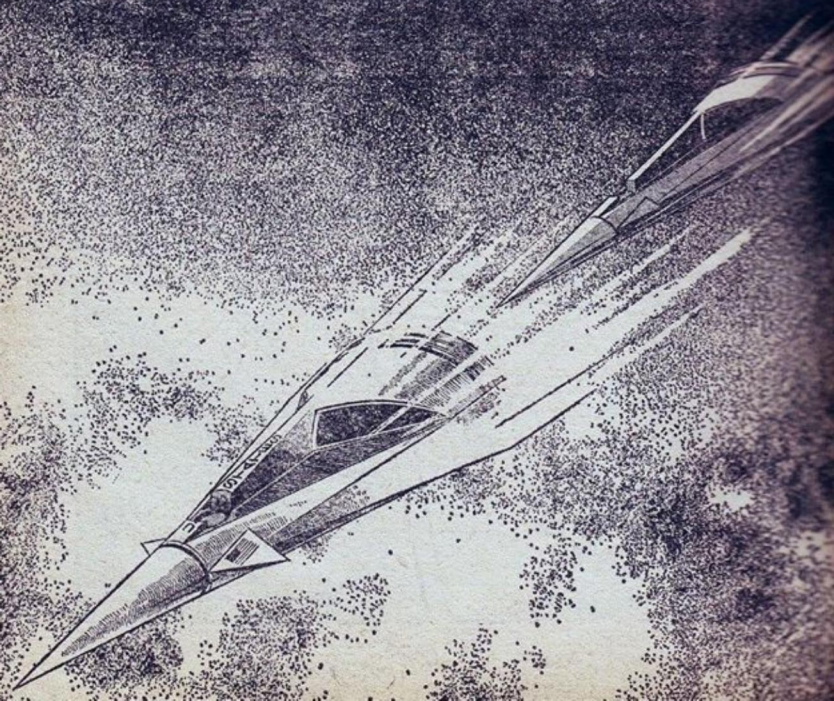


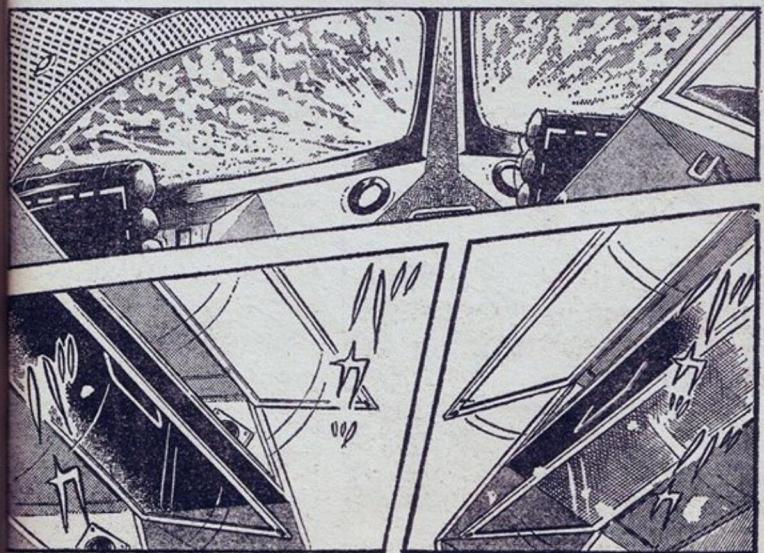
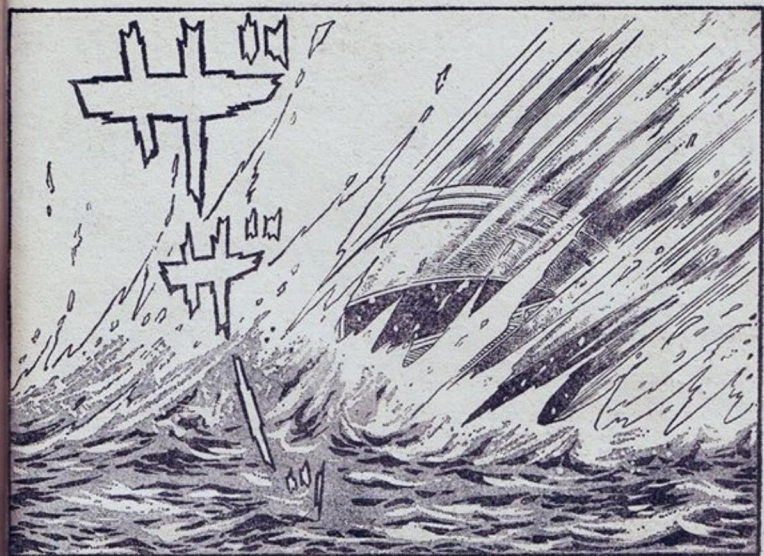
もう
十分に
着陸だ
……
私も
寝ると
しよう
……

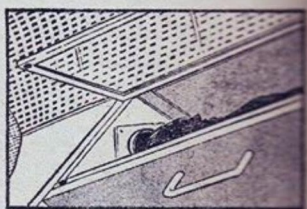


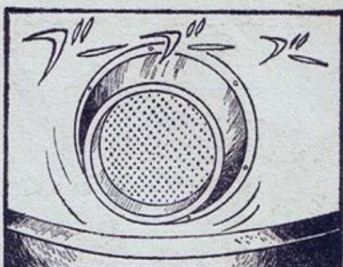
科学幻想

日本经济新闻社出版









ランドン
着陸した
星がどこか
調べるんだ



ドッジ
空気を
調べる



隊長！
不時着
プザーが
……..
やつぱり
そうか！
ここは
地球じゃ
ないんだ

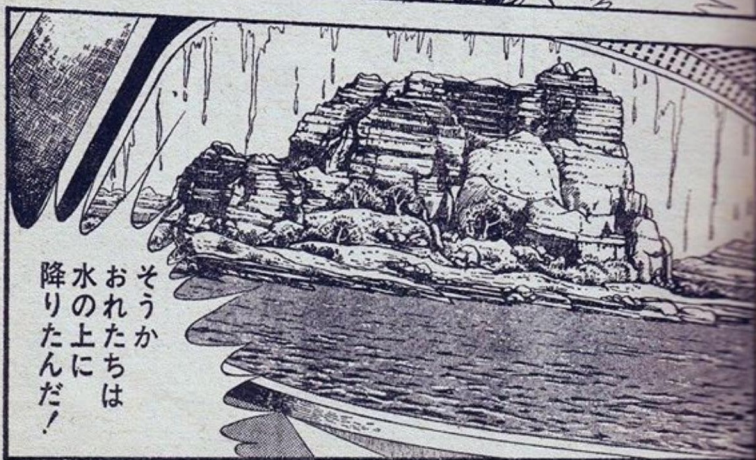
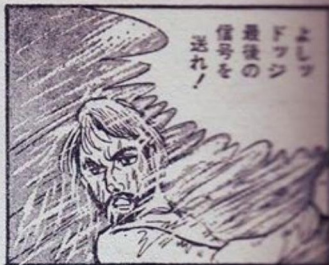


ウッ

ワァーッ
水だア



隊長
だめだ！
計器が動か
ない



浸水が
止まった
ようだぞ

動力が
あるうちに
ハッチを
開こう

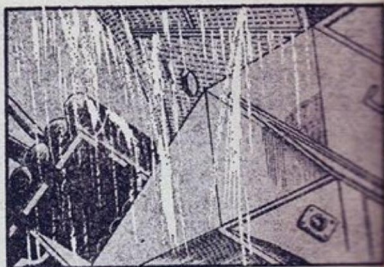
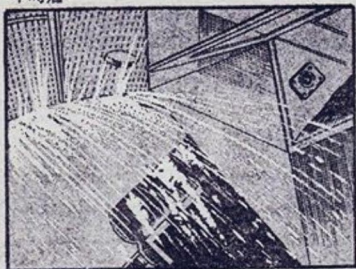
チッ
動かない

沈み出した
ぞ！

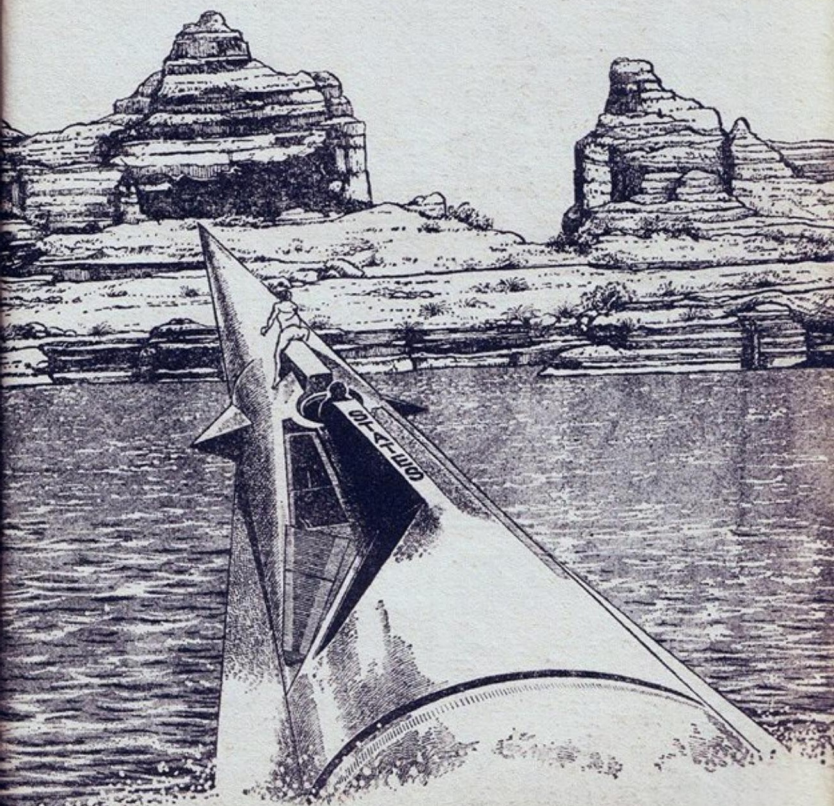
手動で
脱出し
よう

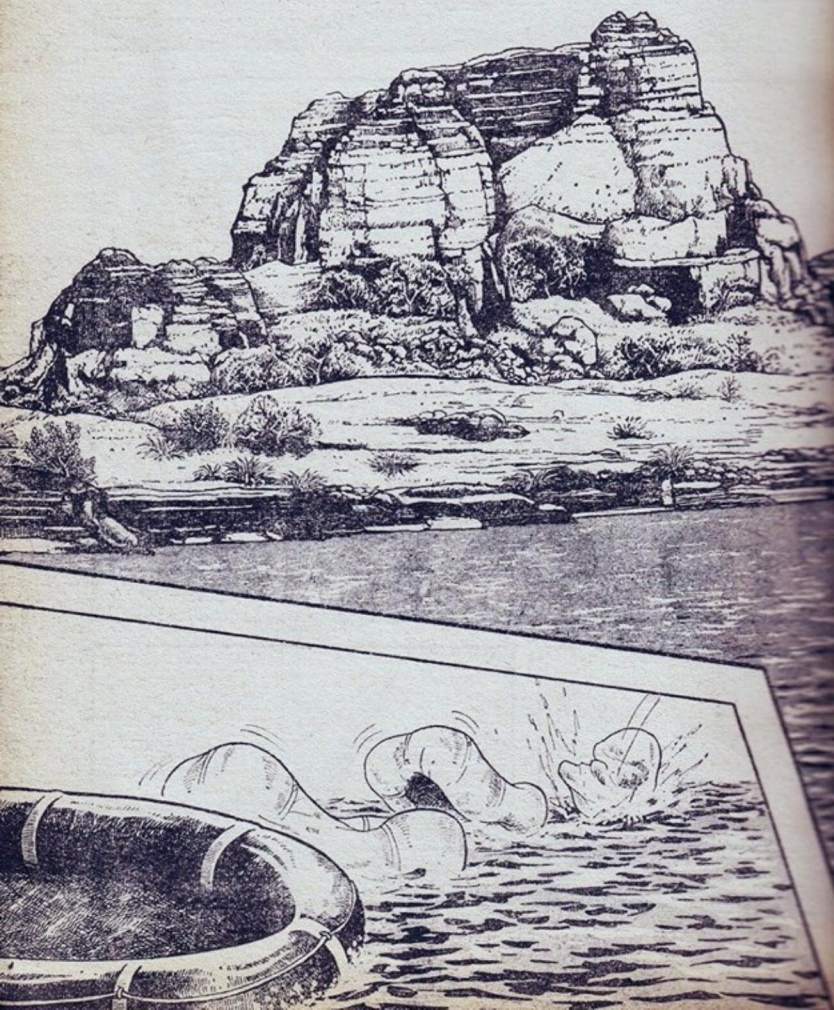
沈むぞ！
ランドン
行こう

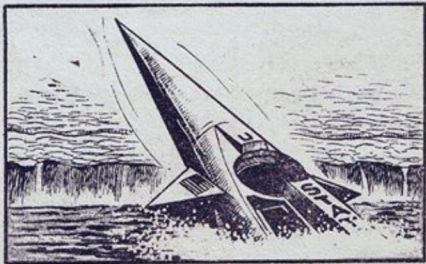
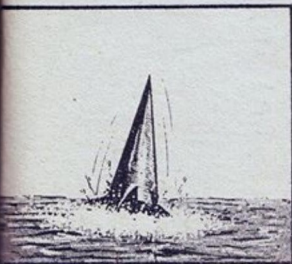
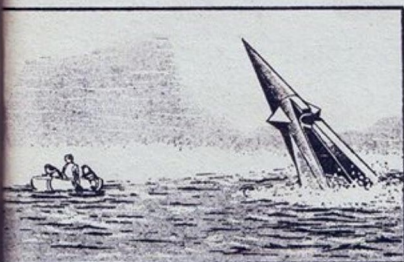
待てッ！
スチュア
ートを
おいて
行くのか！

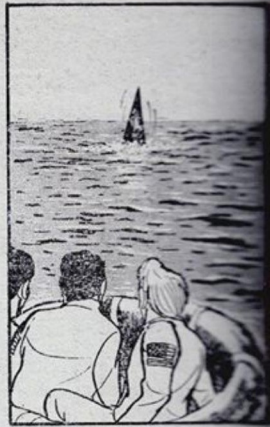


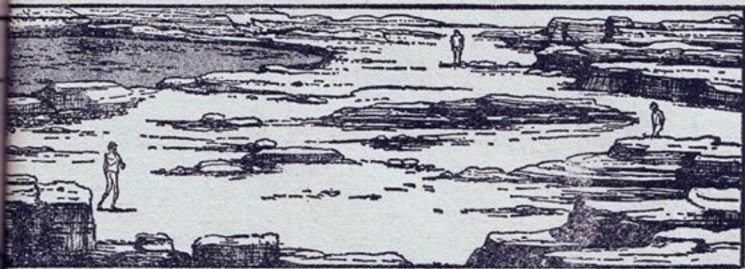
あッ
湖だ！

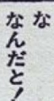


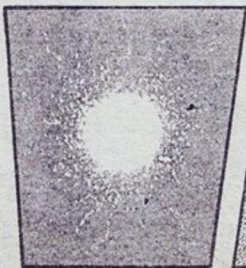


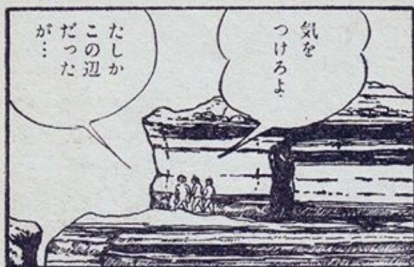


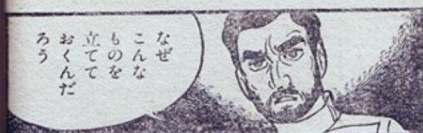














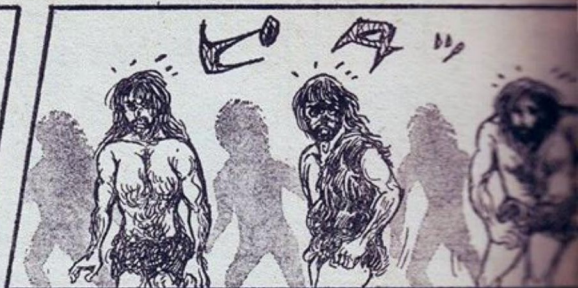


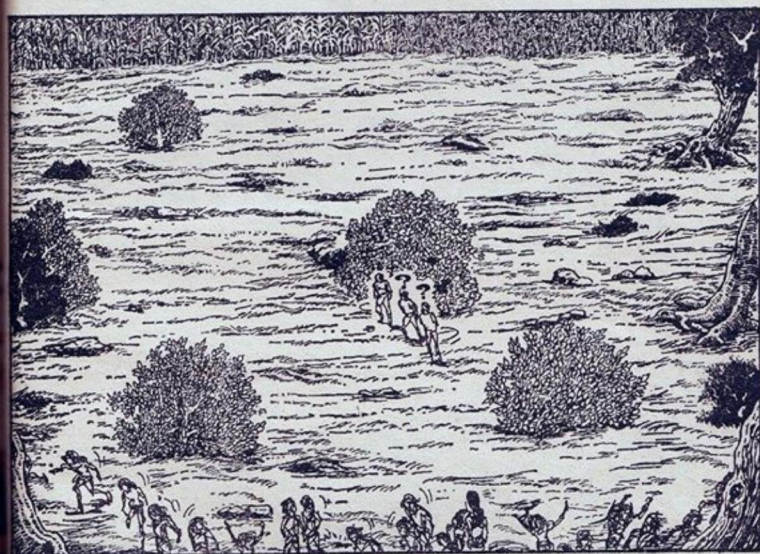




不時痛

どうしたん
だ……
乗畑の方を
見て あわて
てる……



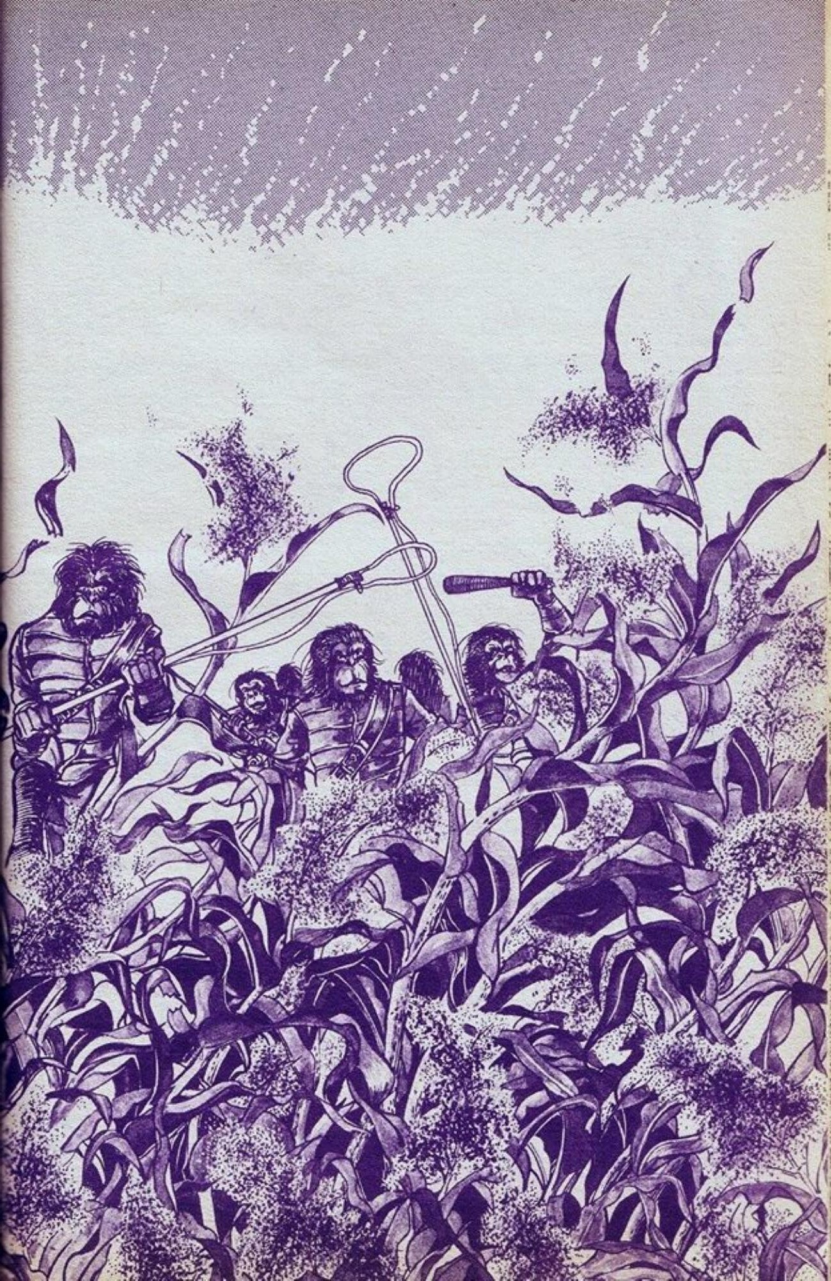


第2章

猿人国

|| 恐怖を呼ぶ
人間狩り |





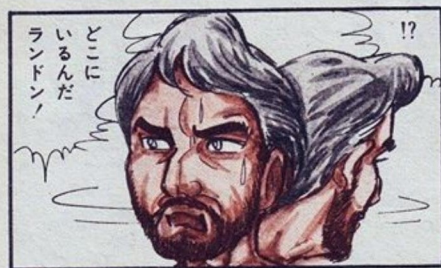


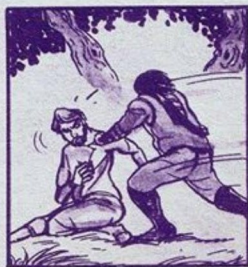






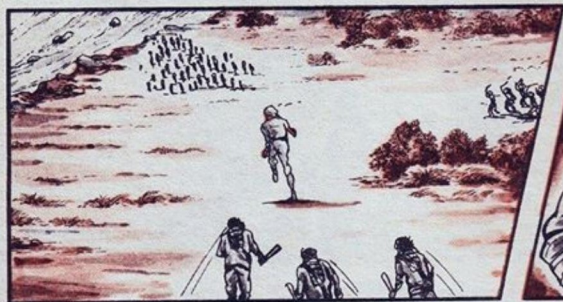










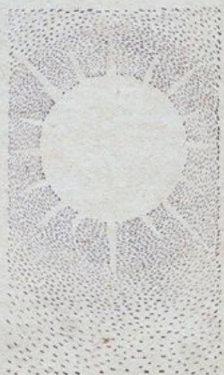
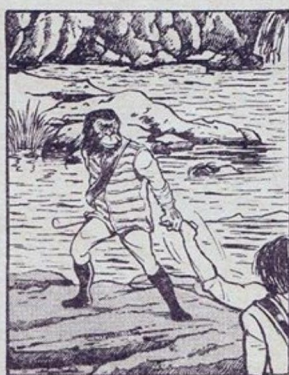




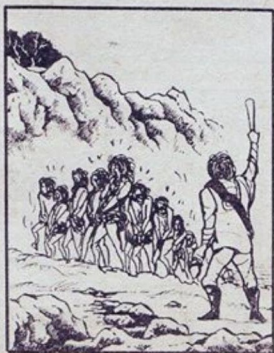
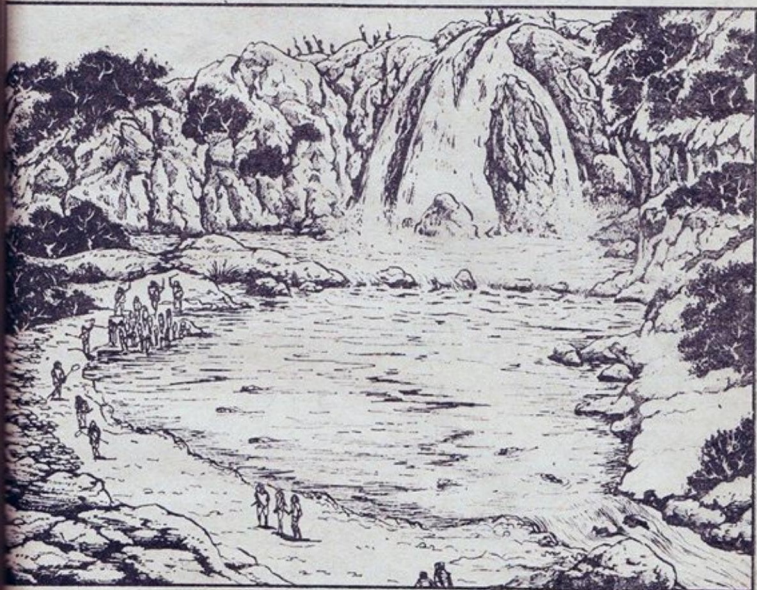


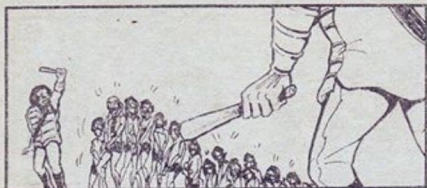




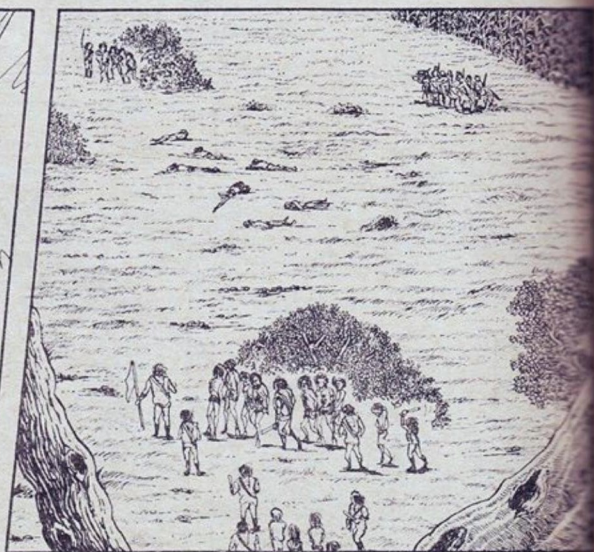


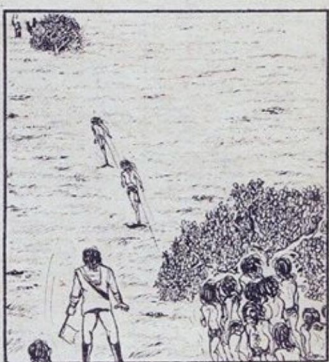
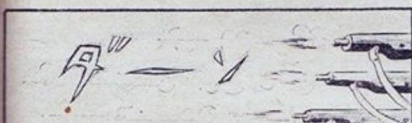




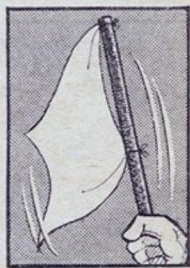


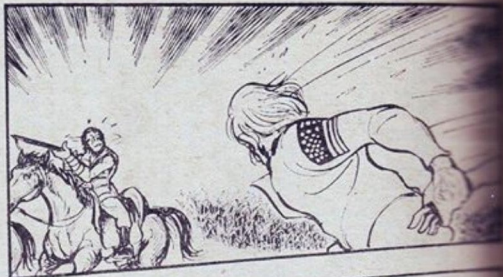


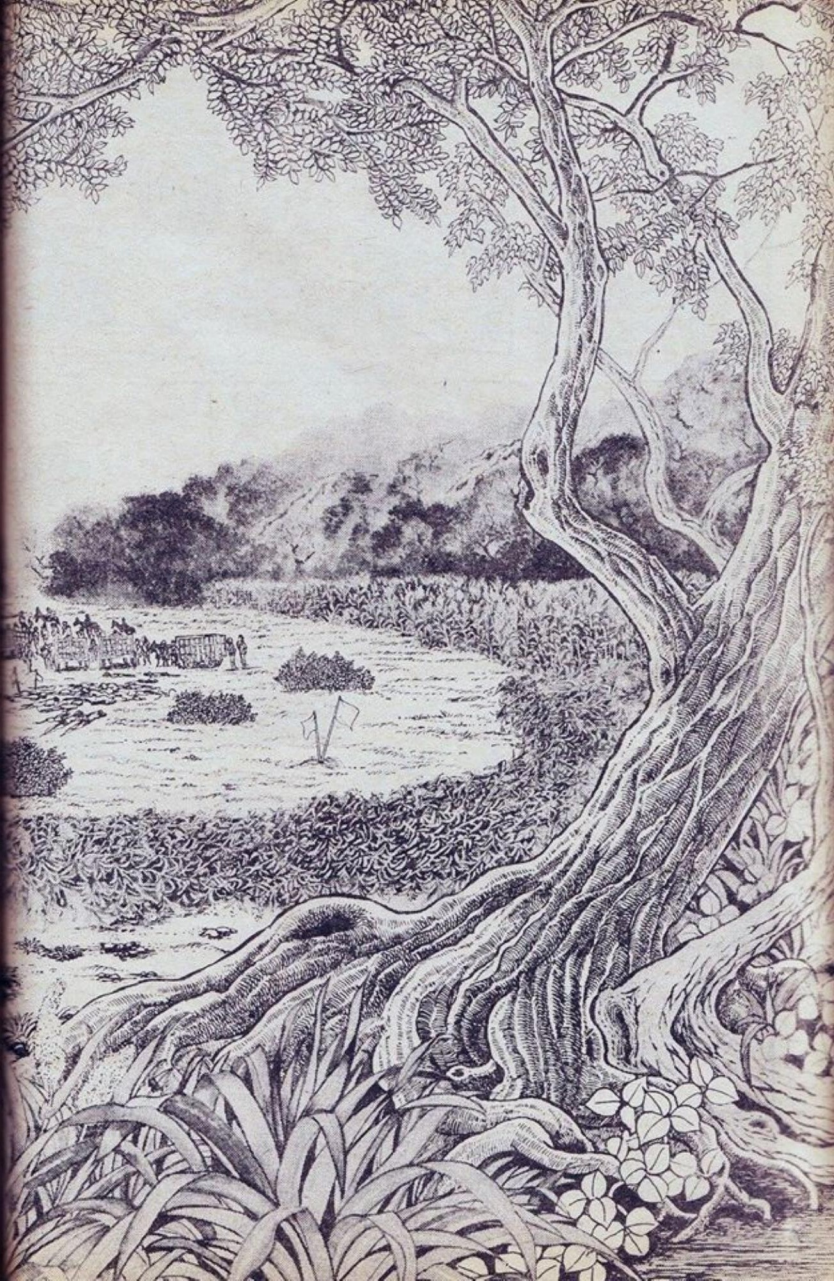


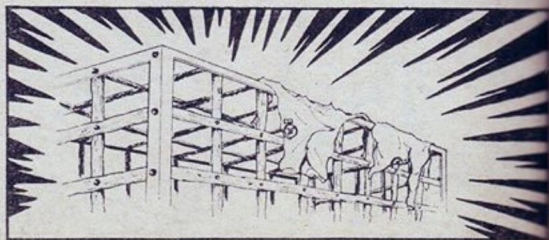
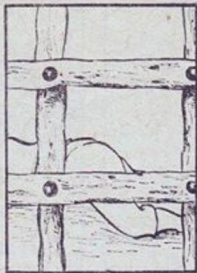


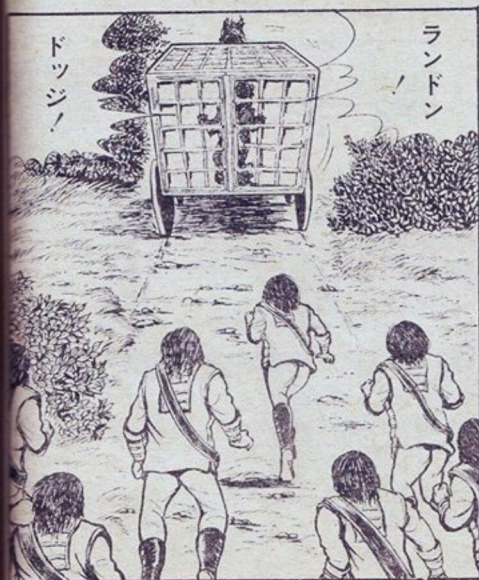




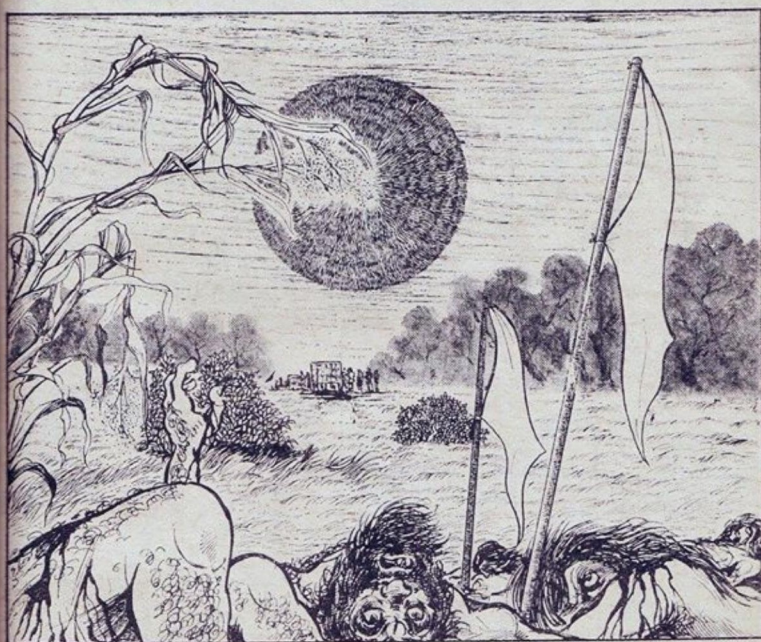
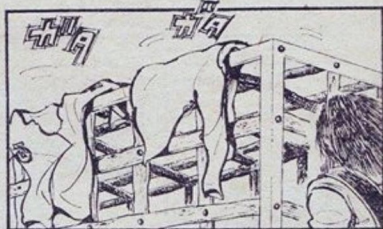
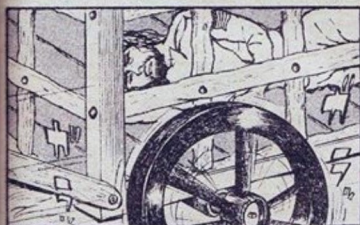






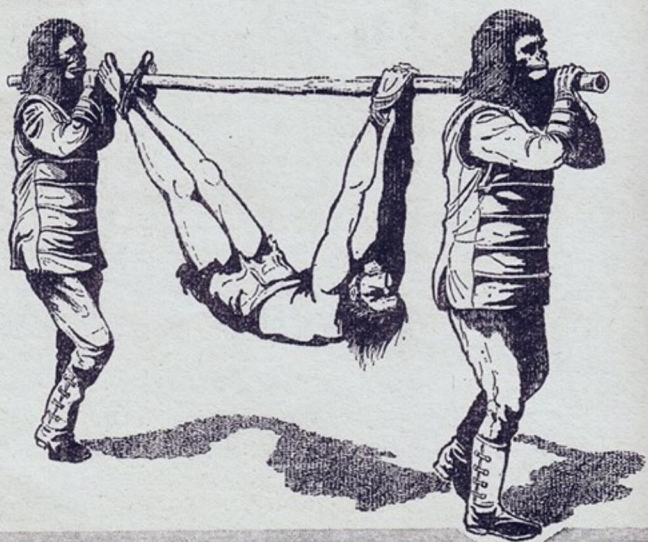






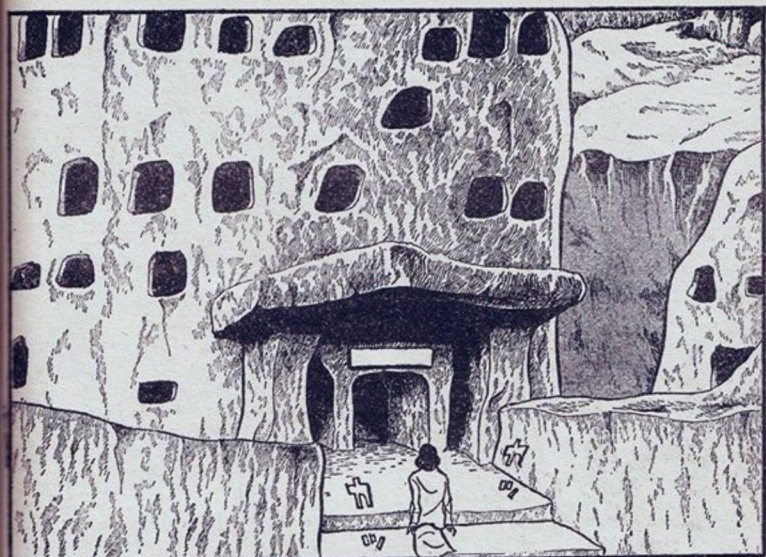
第 3 章

けだもの おり
獣の檻 = 屈辱を重ねる人体実験









お早う
……
いい
お天気ね



お早う
ごさい
ます
ジーラ
さん



脳の
手術に
使って
捨てちゃっ
た!

部長さん
この首
ないこと……
欲しいわア



オー
ケー
まかしと
きなさい

まあ
うれし!
せいぜい
いためないで
ね……
壁飾りに
したいの

それじゃ
今日の手術
が終わったら
あげよう

まあ
もったい
ないこと



フフフ
冷やかしたり
して……

いやーね
中年の男性
は……

けさは
特に
きれいだね

はい?

あッ
それから
ジーラ……



まあッ
部長さん
たら……

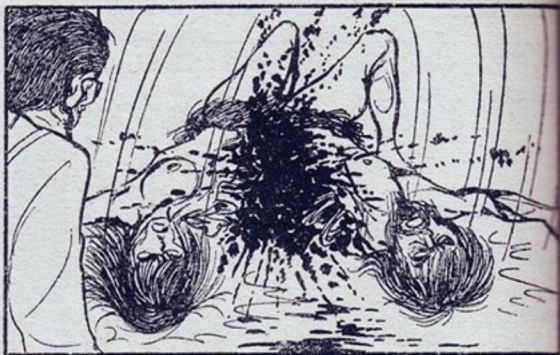






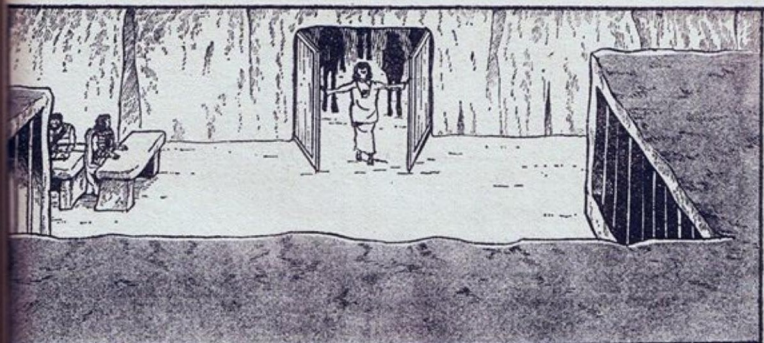




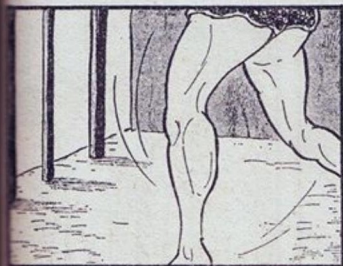










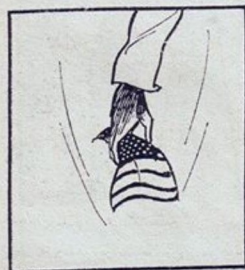








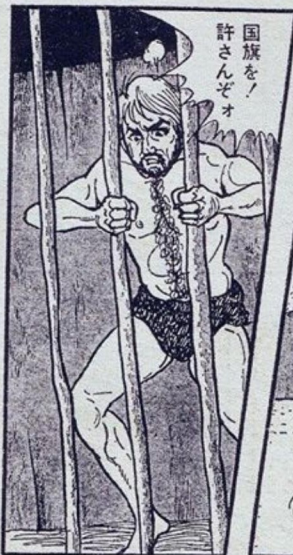




長官!

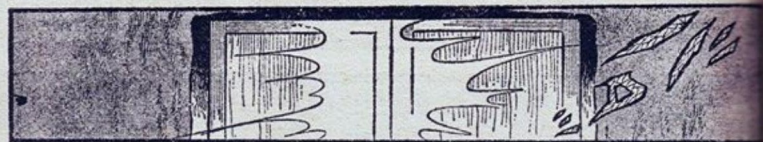


国旗を！
許さんぞオ



やめな
かア!

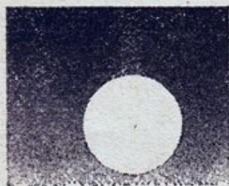


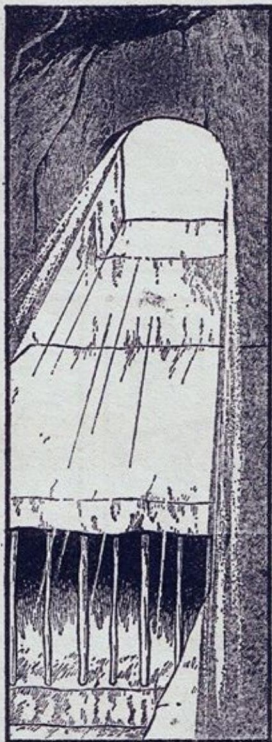
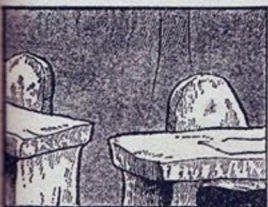








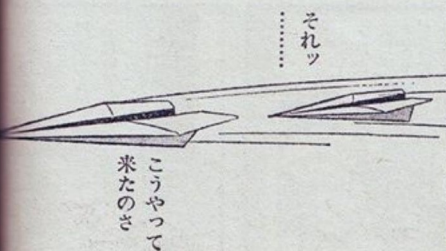














それから一カ月が過ぎた
テイラーは
驚くほどの早さで
猿の言葉を覚え
かなり難しいことも
楽に話せるようになった……

ジーラは努力が実を結んだ
ことをよろこびながら
動物テイラーにも
自分たちと同じ感情がある
ことを知って
目を見張る思いであつた



ジーラさん
……
ジーラさん

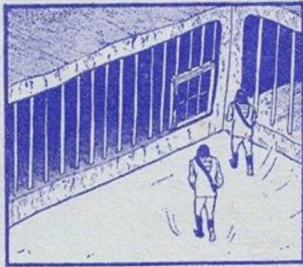
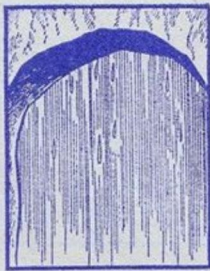


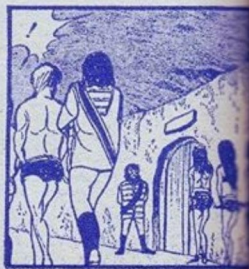
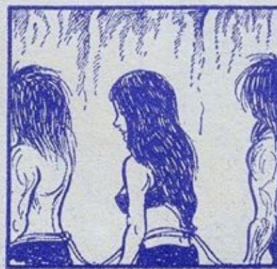










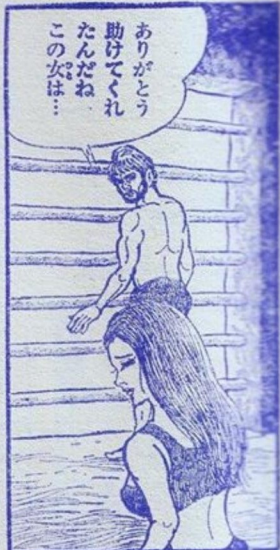


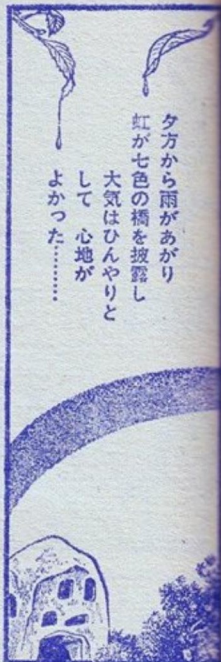
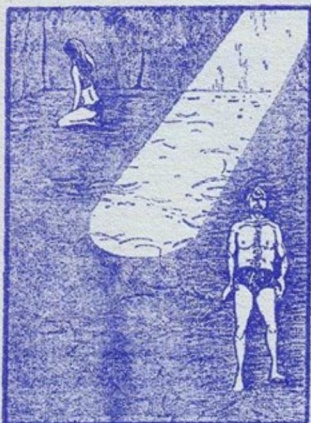
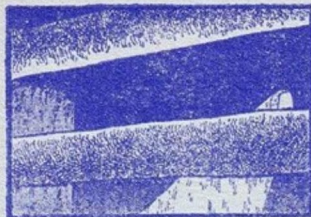












夕方から雨が上がり
虹が七色の橋を披露し
大気はひんやりと
して心地が
よかつた……

そして……
テイラーとノバの上に
初めての夜が
かけ足でやって来た



あう
ムムム
ムムム
……



ノバ……



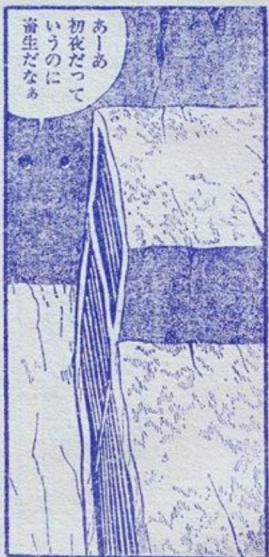
そうだったな
言葉が分から
なかつたん
だな……



フーッ
なんだ
まだ
寝ないのか





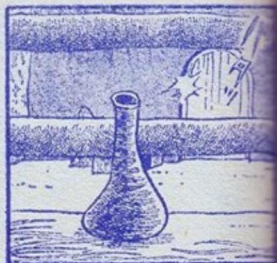














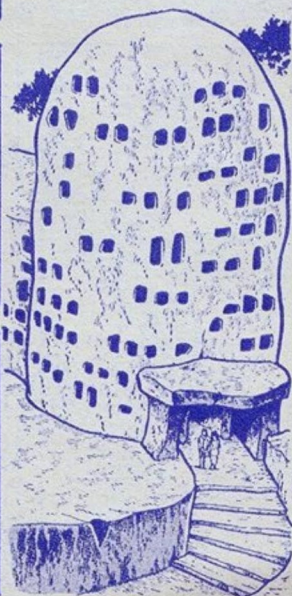




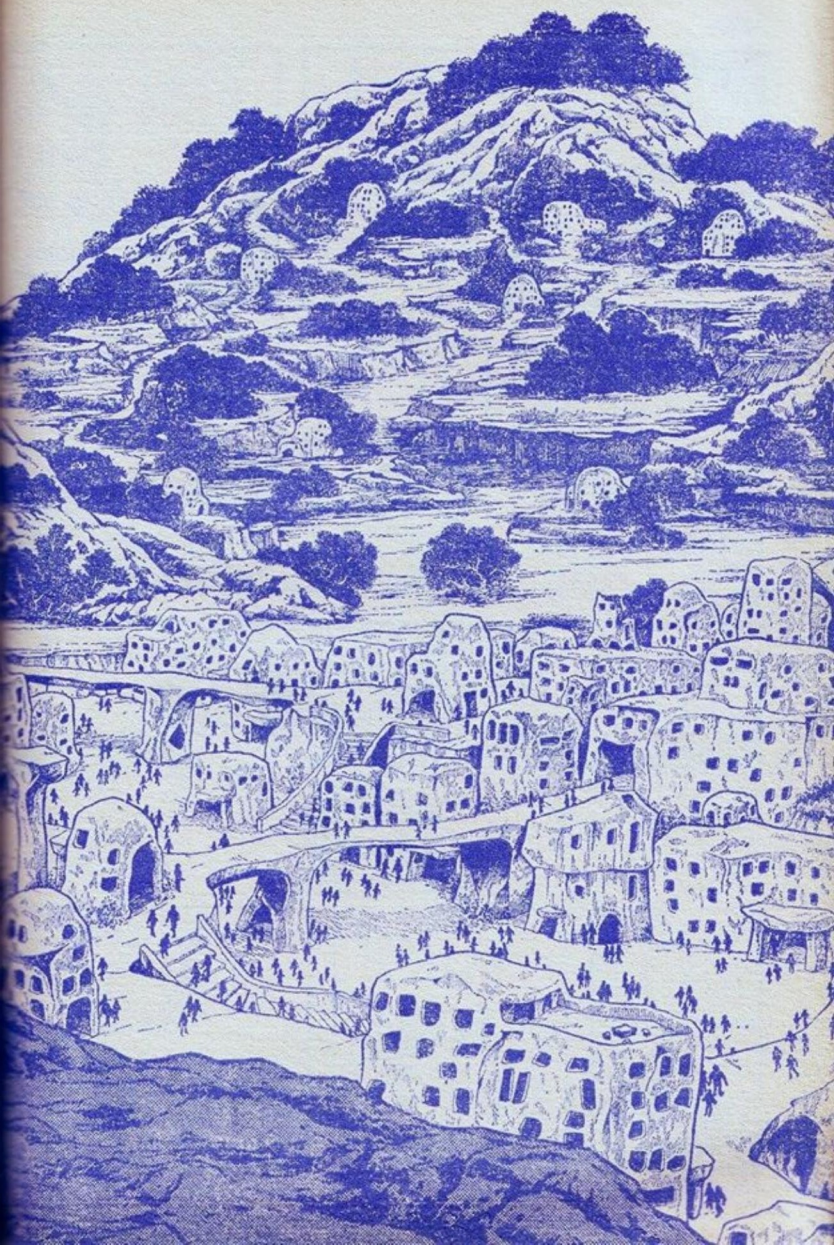




それから
半月たったある月曜日の
ことであつた……
かねてからテイラーの屋
外実験の許可を願ひ出て
いたジーラに
突然の許可がおりた……









どう？

この眺め……

大きい建物は
ほとんどが住宅で
五分の一角が病院よ
もちろん無料の
完備した病院が
あるから みんな
安心してくらせ
るのよ

それに

あの山の上は

偉い方の住いや

議事堂 裁判所

研究所や学校が

あるんだ

どうだい！

ところで
今日の
実験は……



ええ
いつもと
同じですわ



じゃあ
去勢の
ための

まあ
そうですね
……ただ
実験相手が
「光る目」
ですからねえ



おいッ
なんで
そんなに
早く
歩くん
だ!



あらッ
どうした
の……



早く
歩きな
さいよ



チッ
首に縄を
つけられて
裸で町中を
歩くなんて
……

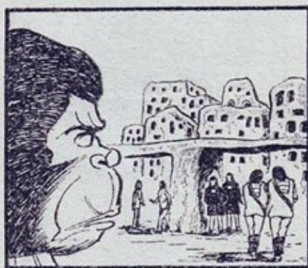
あーッ
はすかしいの



動物が
服を着て
歩いたら
かえって
おかしいわ
よ

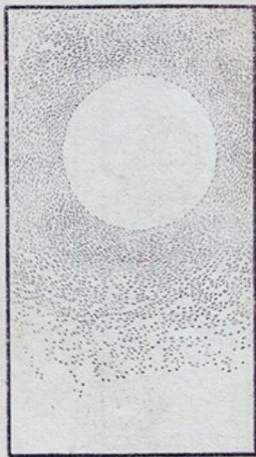
遠い
ハハハハハ



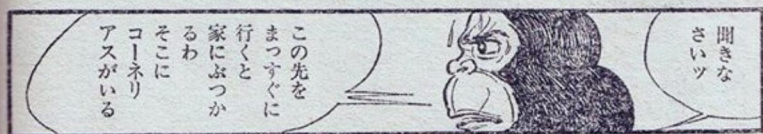
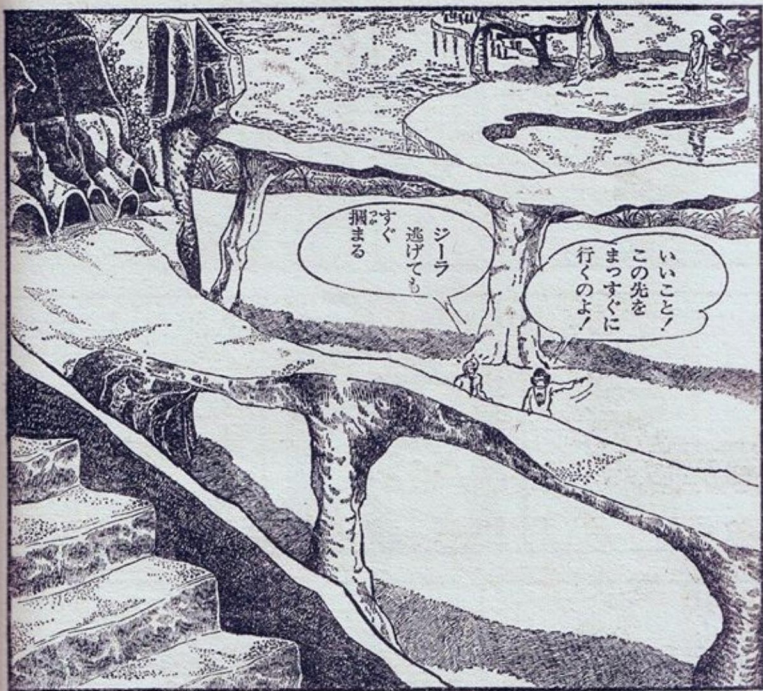


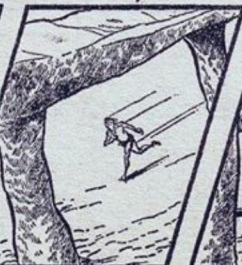


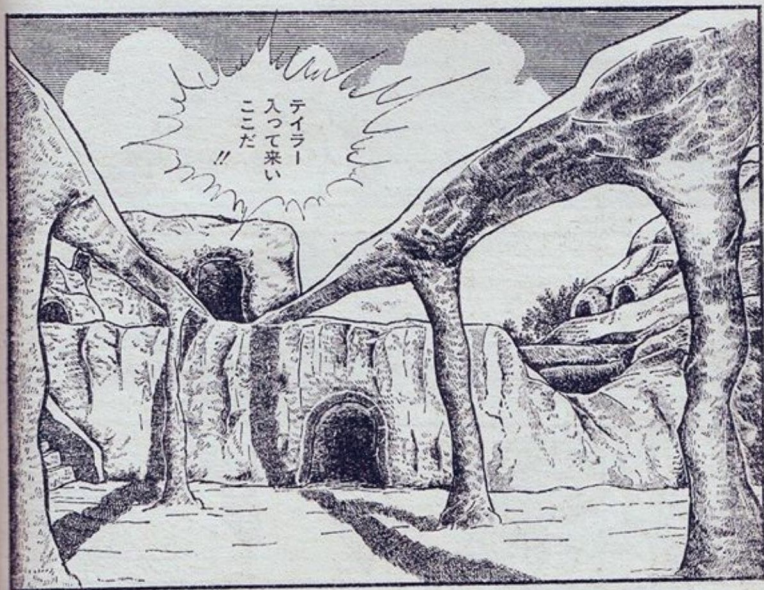
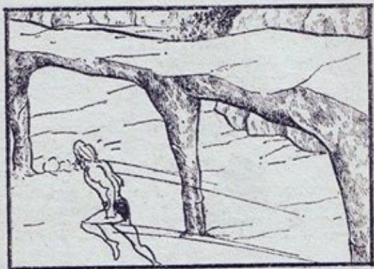








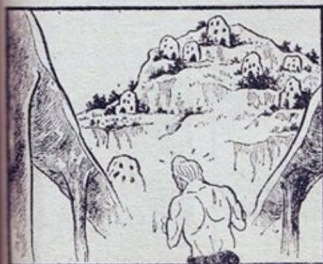




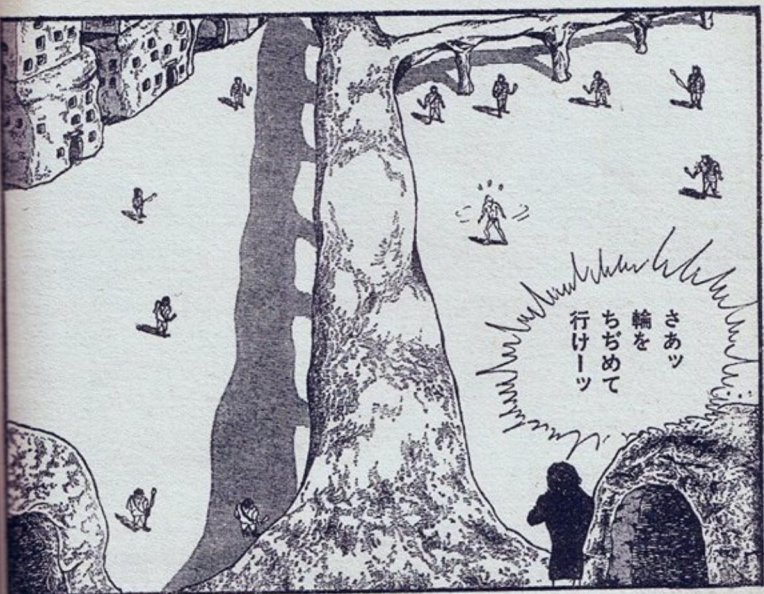
















ノバ……



ノバは
どうした

ジーラを
呼んでくれ



まあ
まあ……
ジーラの
かわりに
私がこの
助手になっ
たんだよ



ジーラは
コーネリアス
と一緒に
綱まった
よ

綱
まった



そうだ
恐しい
ことだ……
二人とも
反逆罪
でね……

反逆罪



その裁判には
おまえも関係が
あるっていう
お達しなんで
去勢手術も
延期なんだ……



去勢つて
いえば
ノバが
妊娠してな
別室に移した
よ……

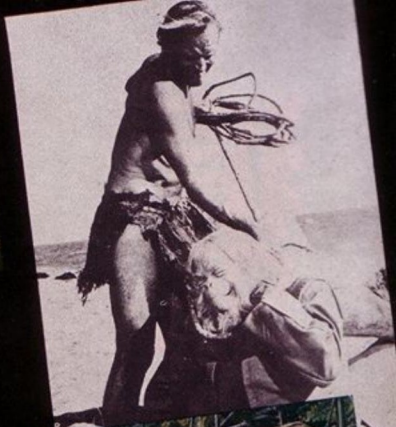


おいッ
聞いてるのか!

二人が
あの二人が……
反逆罪!

猿の惑星

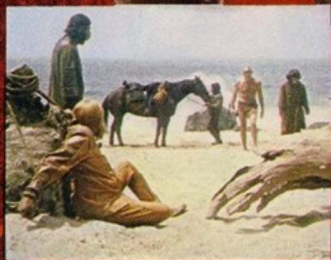
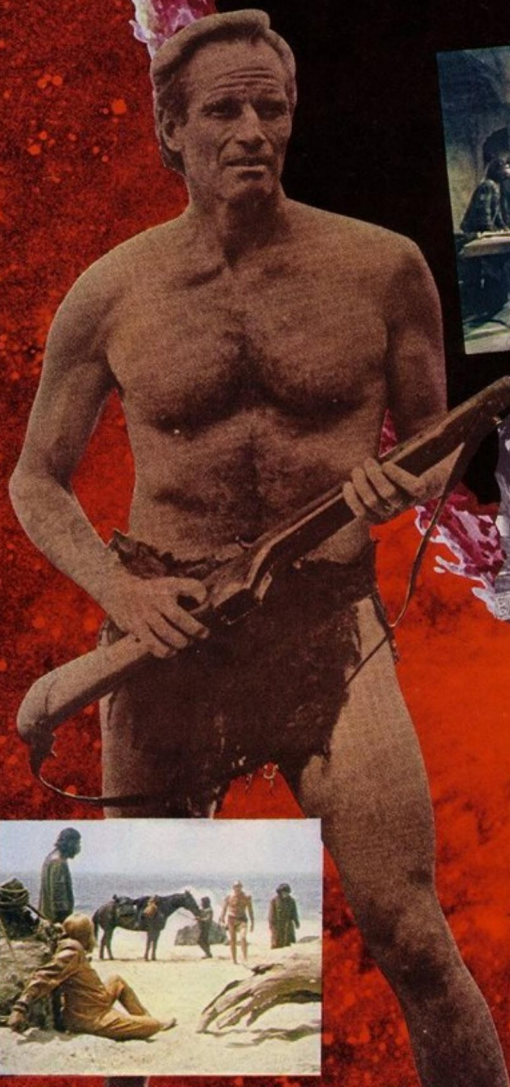


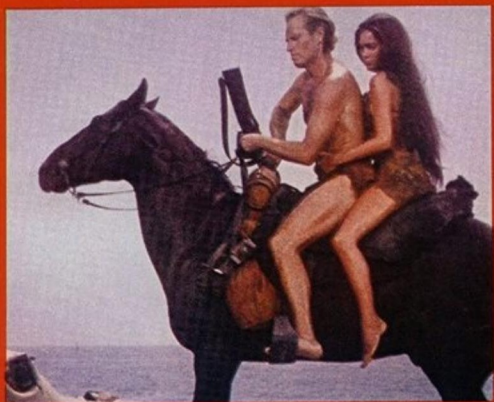


■このショッキングな物語の結末は
誰にも話さないでください。



❁ 第二部 ❁



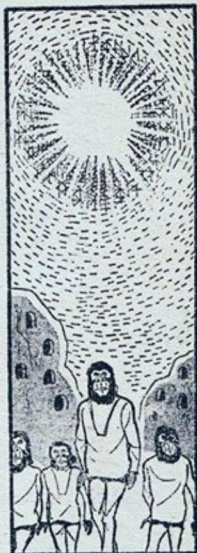


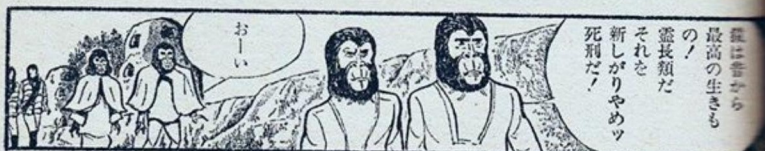
第 4 章

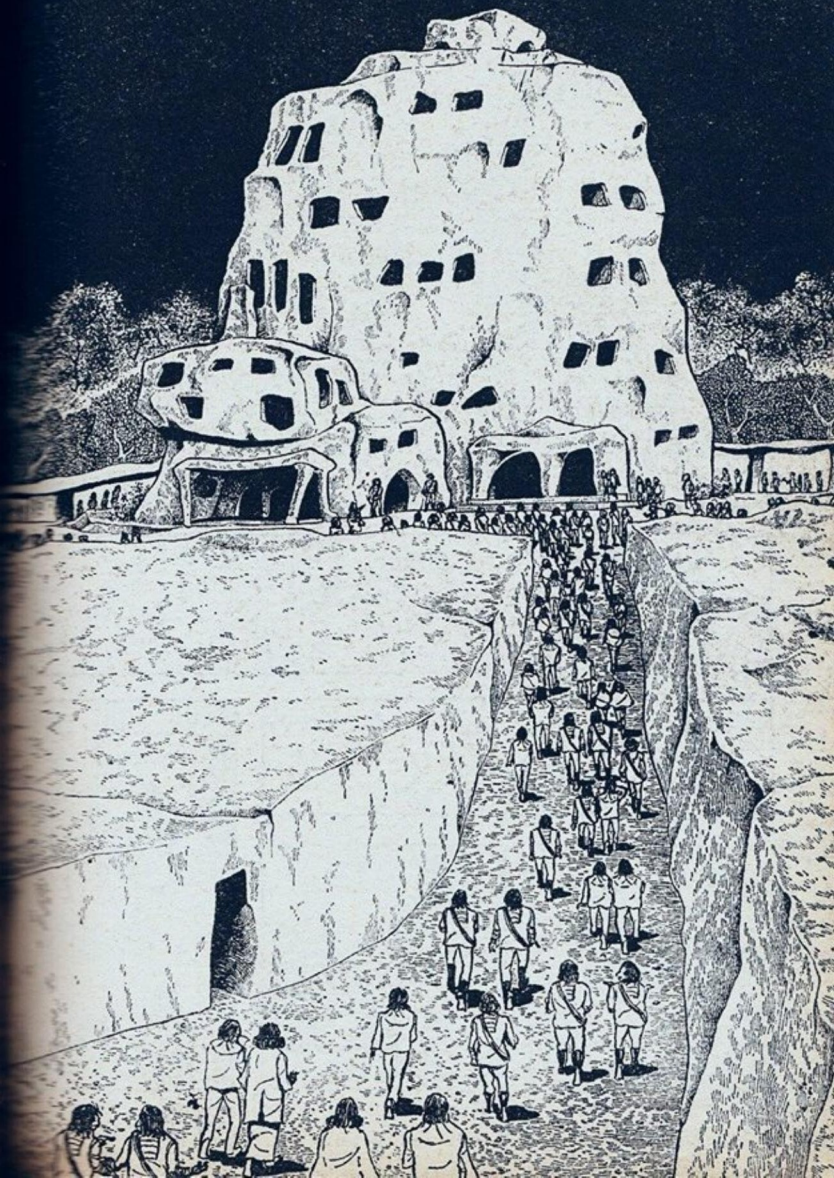
嫌疑

— 許されざる
者の裁き —

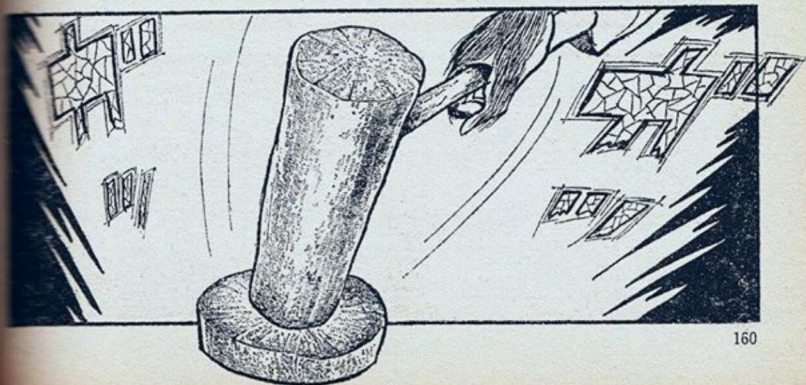
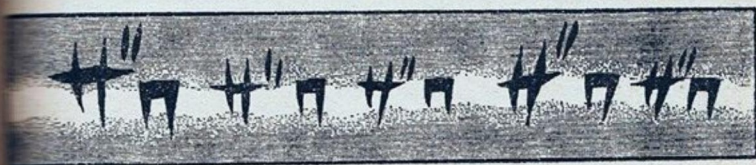




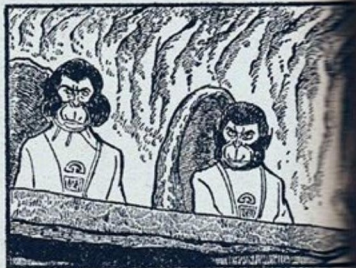








シーラ



よろしい
かね
両被告

ええ…

では
検事は
起訴状を
読みあげて
ください

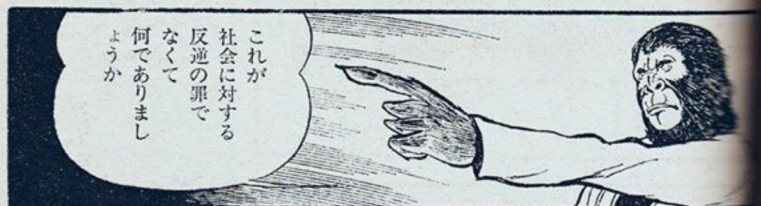
えーッ
裁判官と……
そこにお並びの
十一名の
陪審員の
みなさん

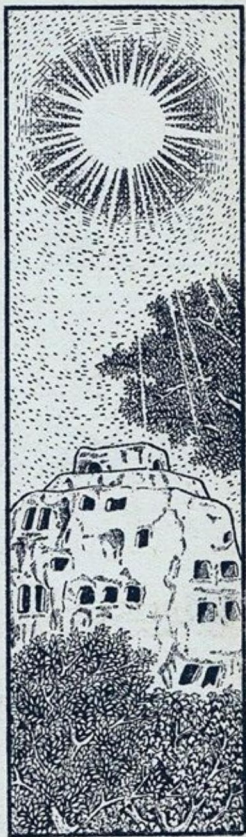
人間
研究所の
ジーラの
二人は…

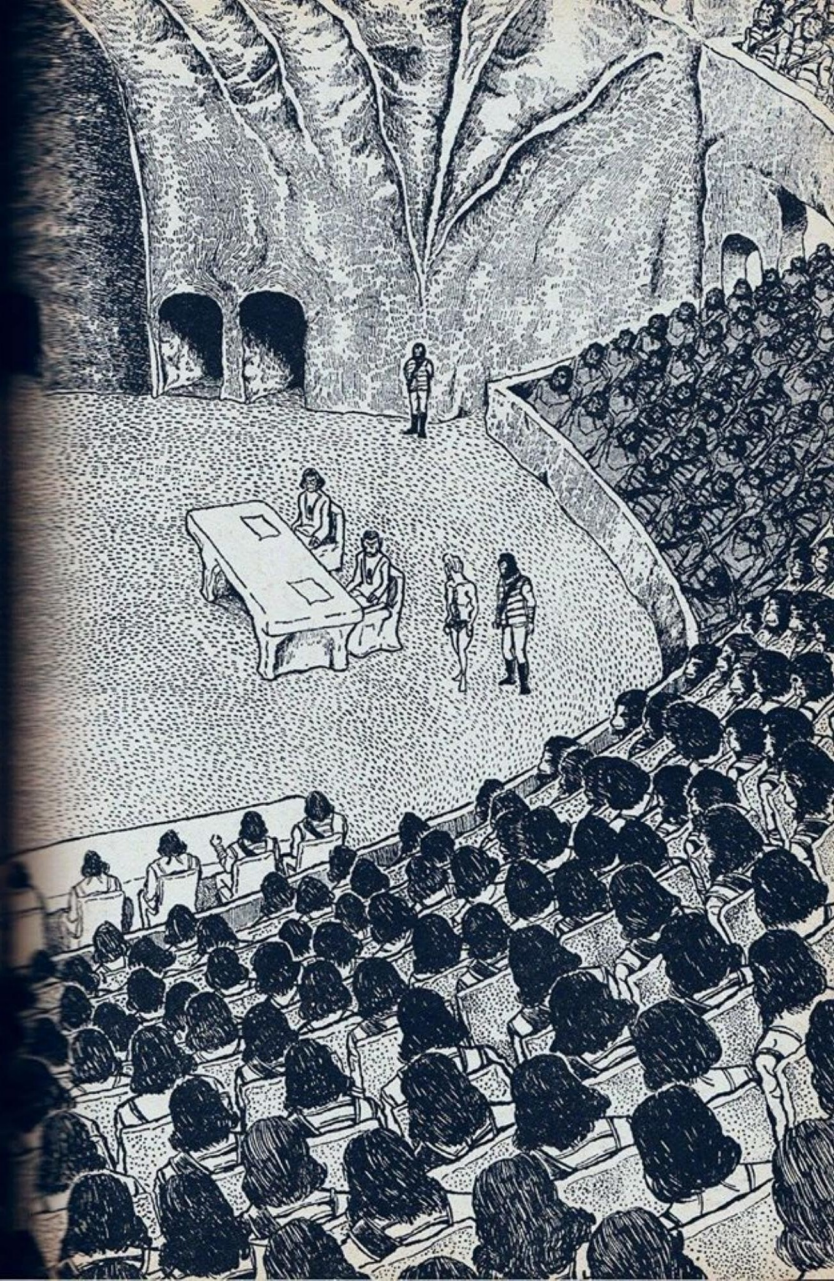
捕獲した
実験用の人間
の中から
奇形人間を
みつけるや…
「光る目」と
名付けて
これを育て…

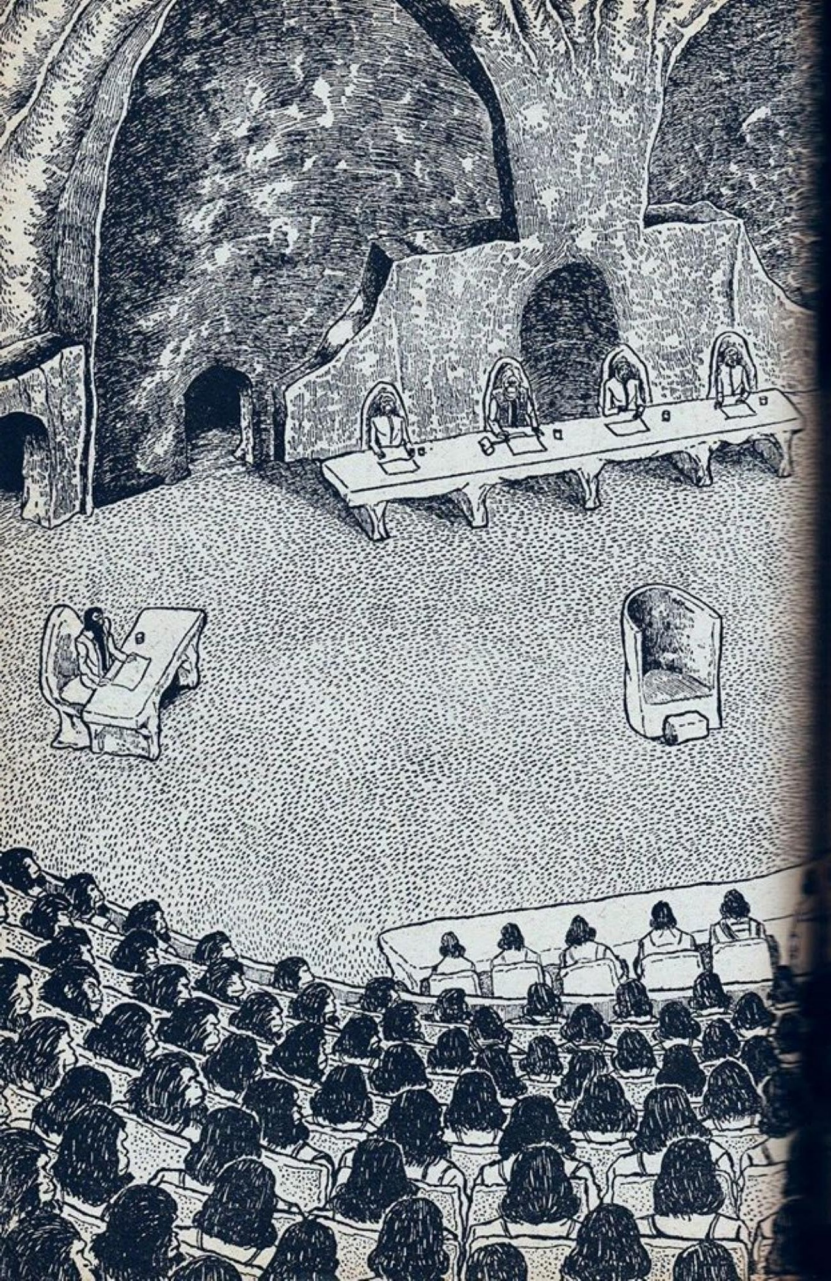
われわれの
言葉をしやべらせる
ことに
成功し…

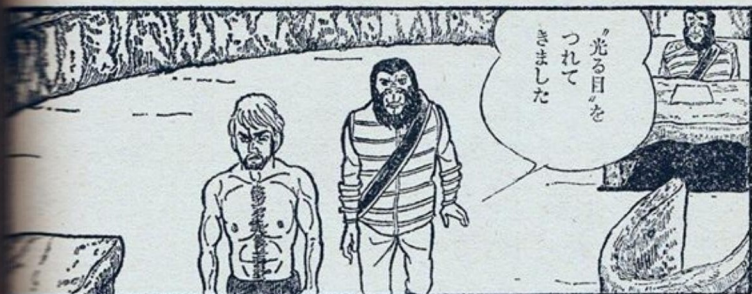
囚人
教育センタ
ー動めの
コーナー

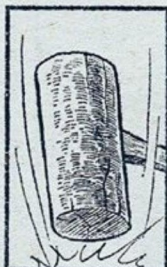














裁判長



飛んで
来た



飛ぶと
空中を
浮いて
進むことだ

おそろしい
悪魔しか
できない
ことだ



年おいた
者は
教えない……
タブーだからだ



いまの
若い者は
飛ぶという
言葉も
知らない……



われわれは
何十年も前に
この悪魔と
戦い
これを絶滅した

？



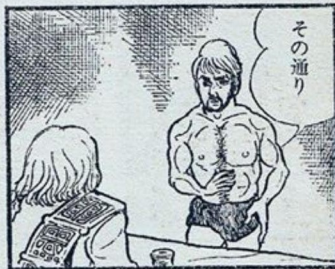
昔
われわれが
滅ぼした
あの恐ろしい
奴と同じだ

しかし
こいつが
飛んできた
のなら……



タブー？



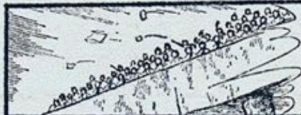
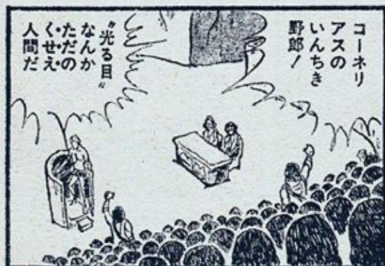






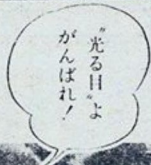
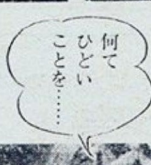
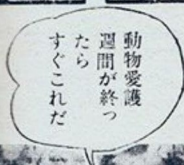




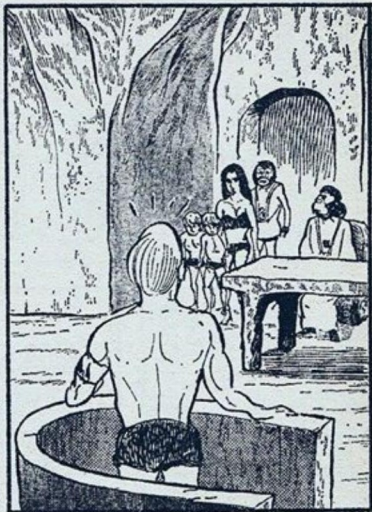


これでも
くらえ！
畜生め











突然テイラーの歌が法廷内にひびいた……

若き日はや夢とすま
我が友みな世を去りて
あの世にたのしく
ねむり
かすかに
われを呼ぶ



猿のくずといわれた
オラウータンの
中から



社会の下積み
のゴリラや

無心に笑う
子供たちの
横に
ノバの涙が……
それは母親の
顔であった



われも行かん
はや老いたれば
がすかに
われを呼ぶ
オールド
ブラック
ジョー



そして
権力者の中からは
にがりきつた
表情がながれた



ニバンジ
中から
沈黙が……



おれは
感情のない
動物でもいい



裁判長
……
おれは
奇形人間
でも
何でもいい





は は は は は 。。。。



判決の朝は曇っていた.....

判決



陪審院の
票決により
反逆罪は
無罪!



ただし
奇形人間を
たねに
治安を乱した
罪により
懲役三年
執行猶予
四年に處す

やつばり
。光る目。は
認められな
かった



いまは
これで
すんでも
このままじゃ
いつかは
殺されるわ



それでも
おれは
戦うぞ

。光る目。
おまえは
裁判に協力
してくれたから
願いをに入れて
兵舎の隣に
親子四人で
住ませよう



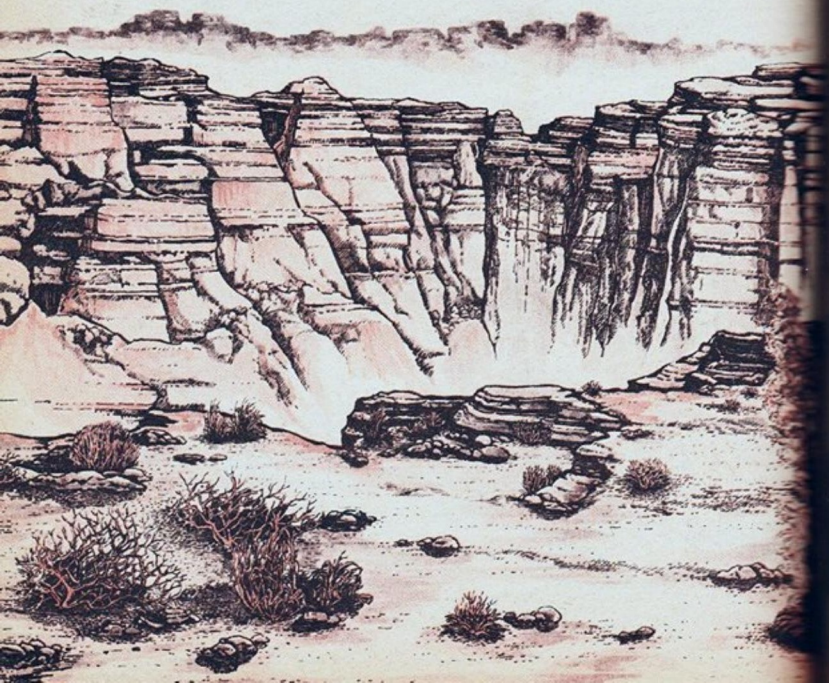
ただし
人間研究所
の実験用と
してだな

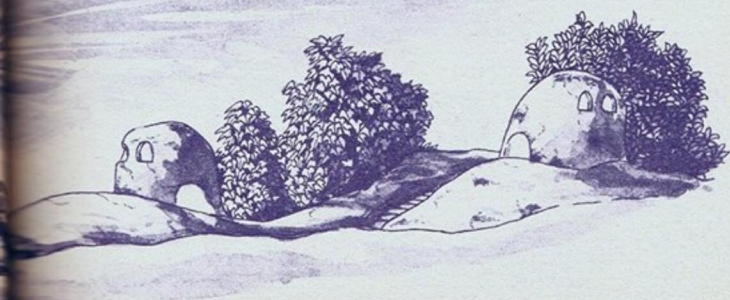
判決が終つても空は依然として曇っていた……

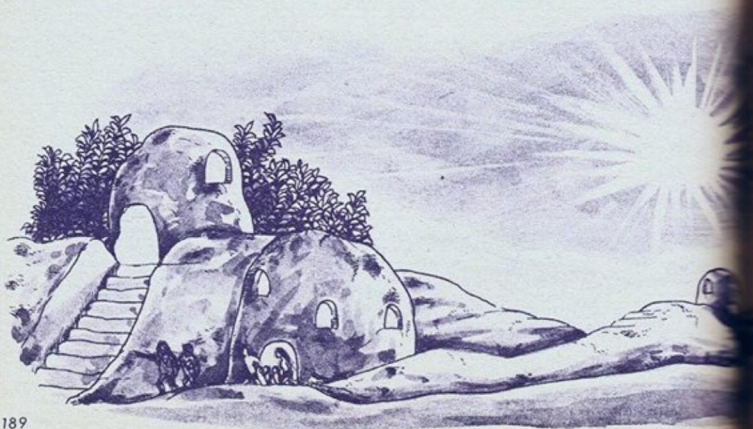
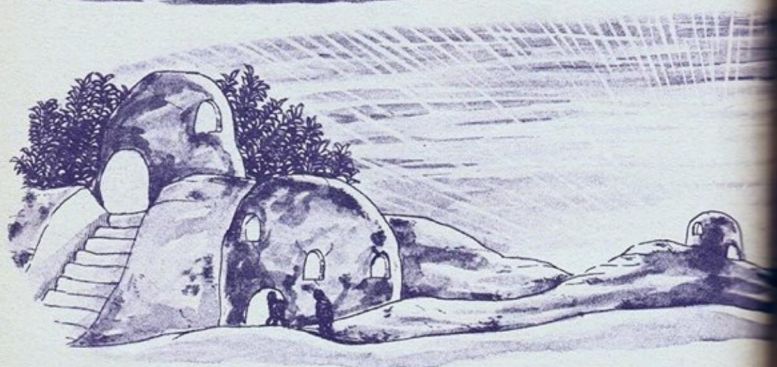
第 5 章

脱 出

さまよえる
死線







叩き起こされ

せきたてられたテイラーは

朝のまばゆいばかりの陽の光が

今まで見たことのなかったほど

コーネリアスとシーラの

緊張しきつた姿をとらえて

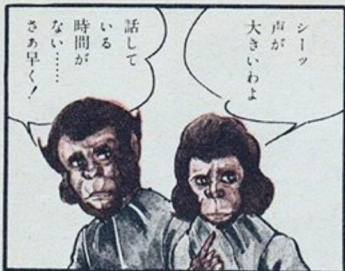
キラキラと

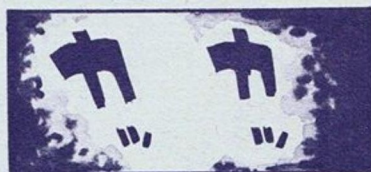
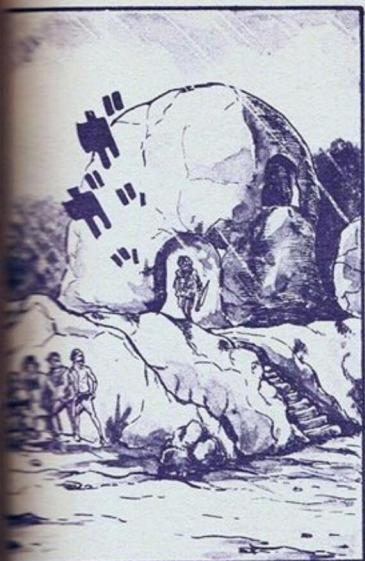
光り輝いて

いるのを

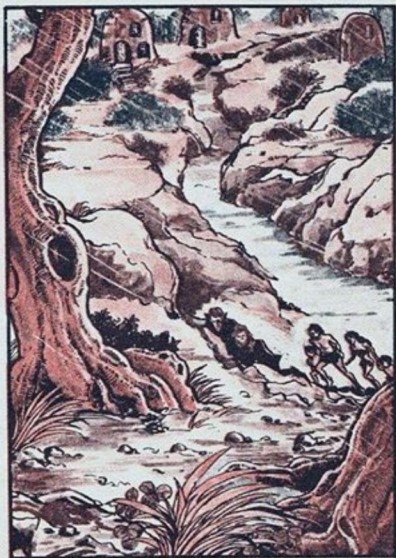
見た、

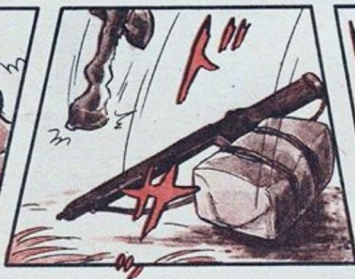






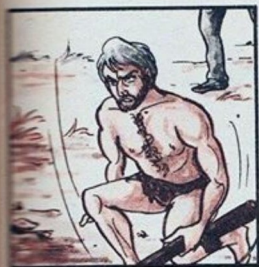


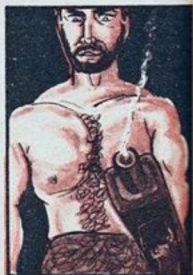
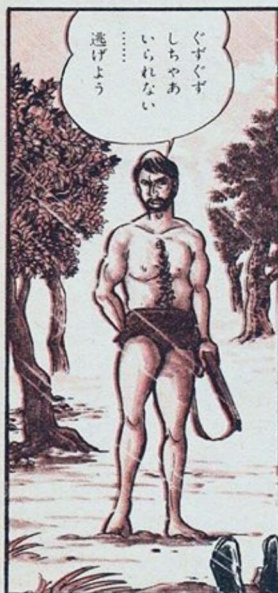


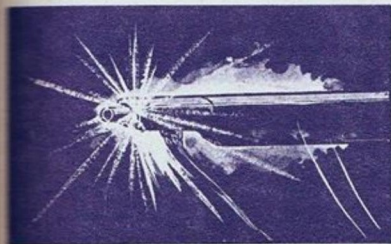














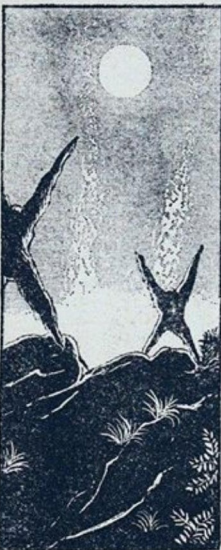




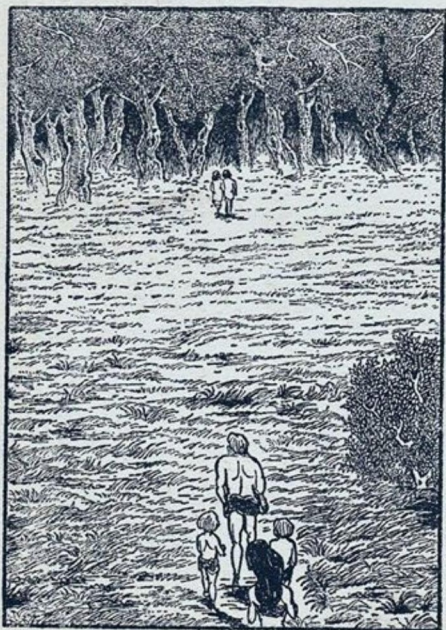




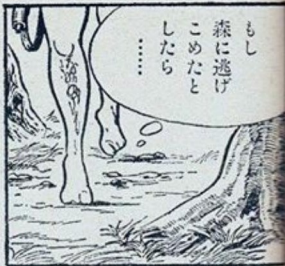
















早く
子供を
おろして
食べさせて
みる
元気が
出るぞ



そーらッ
ほほう
だいぶよく
なった
ようだな

よかつた
顔色がよく
なったわ



さあッ



心配
しないで
食べて
みるよ
うまい
ぞオ



ウーン
こいつは
うまいノ
ざくろの
ようだ



ノバ
食べて
みるよ!

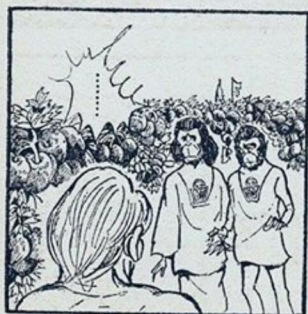
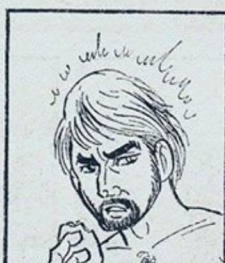


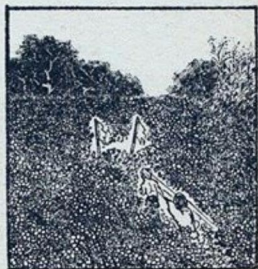
おっと
忘れてた…
お前たちに
もやらない
とな…



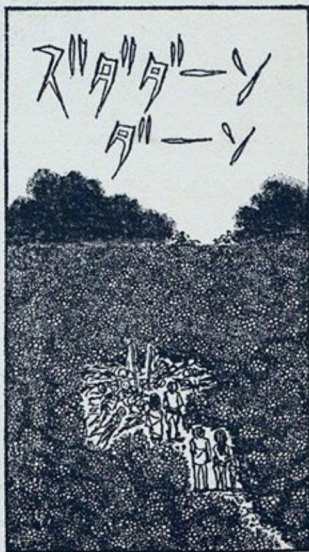
元気に
なつて
本当に
よかつた
わア







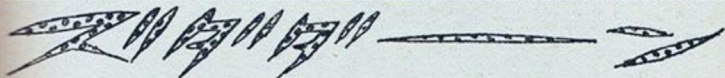


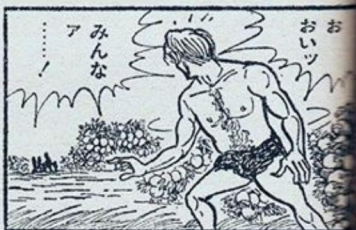
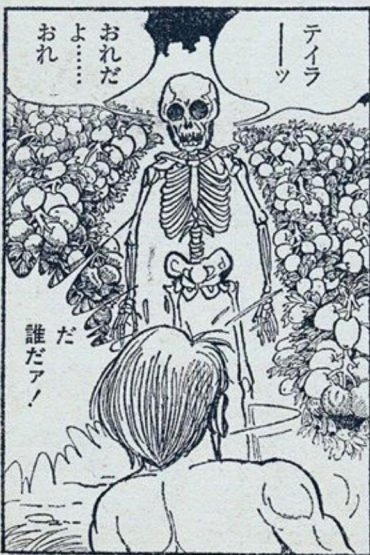
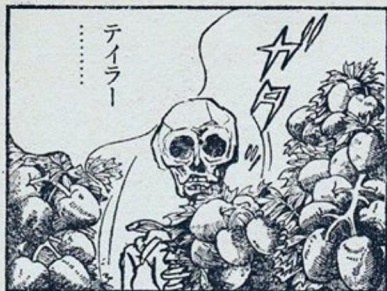


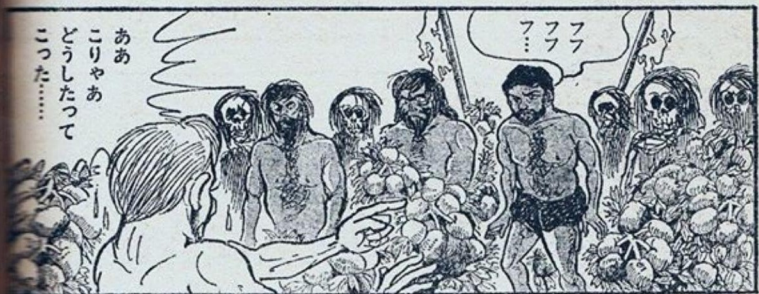
第 6 章

禁断区 — 開かれた聖域 —



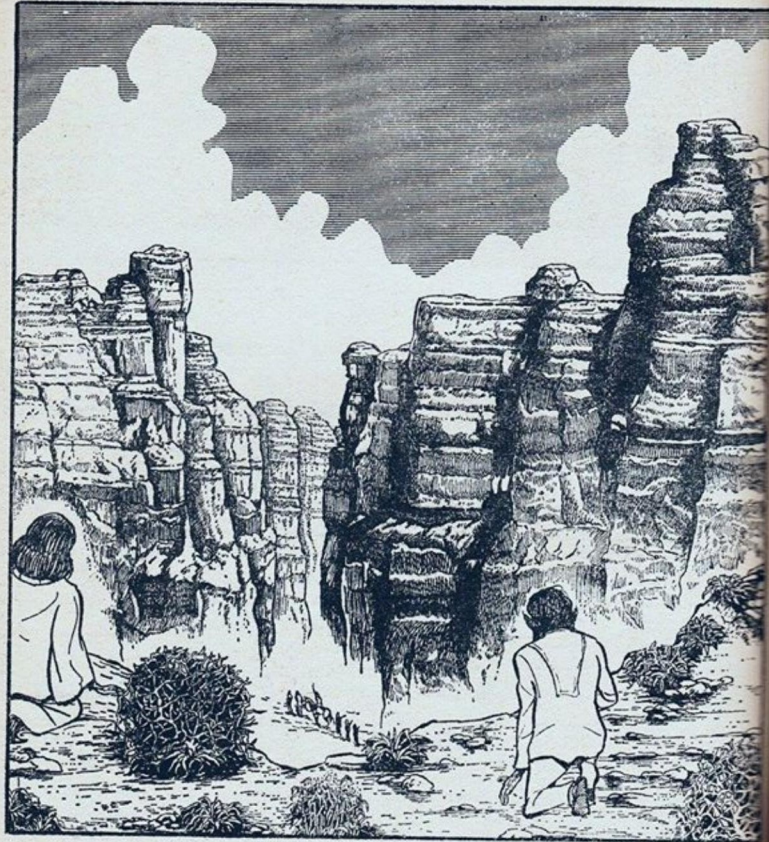


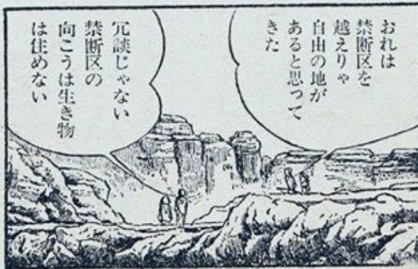














追っ手が
いる……
持ち帰るの
は不可能だ
……

不可能でも
持ち帰るしか
われわれの
生きのびられる
道はないよ
テイラー

成功したら
公正な機関
にまかせる……
真実は
われわれを無罪
にし 君を自由
にするだろう

いや英雄に
し……
世の中は
前進する

なぜ
おれを
つれて
きたのだ

いい質問
だ……
それは
君なら
その証拠から
もつと何が
わかると思っ
たからだ

もつと……
？

十中八九……
君によつても
重大な発見になる
はずだ……

どうい
う
意味だ

まずは行って
その証拠とやら
を見るしか
道はなさそう
だな

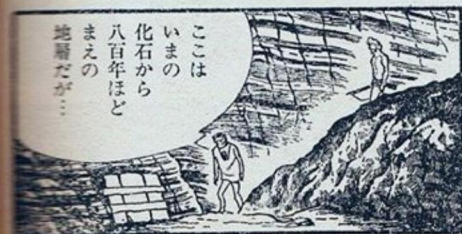
行けば
わかる

どうだ
協力する
かい……











くどい
ようだが
これは
猿じゃない
んだな



私も
はじめは
猿かと思つて
調べたが
人間だった

それじゃ
猿に飼われ
ていた
人間たちじゃ
ないのか



みろ！
これは
心臓移植
のあとだ
……



二千年前
に
この人間は
心臓移植を
している



心臓移
植……！



それに
この歯をみろ
……
金が
かぶせてある

えッ
本当だ
！



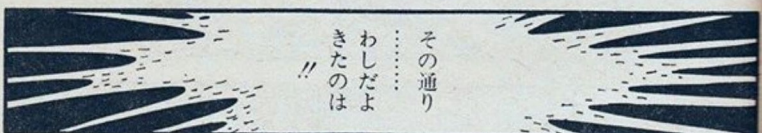
これは
人間が支配
していたことを
示しているとは
思わないかね



コーネリアス
……
証拠とは
これか？

いやー
もっと
決定的なもの
があったんだが





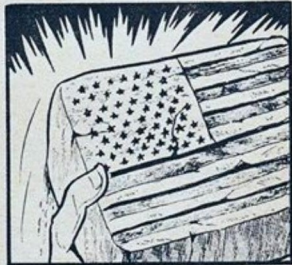


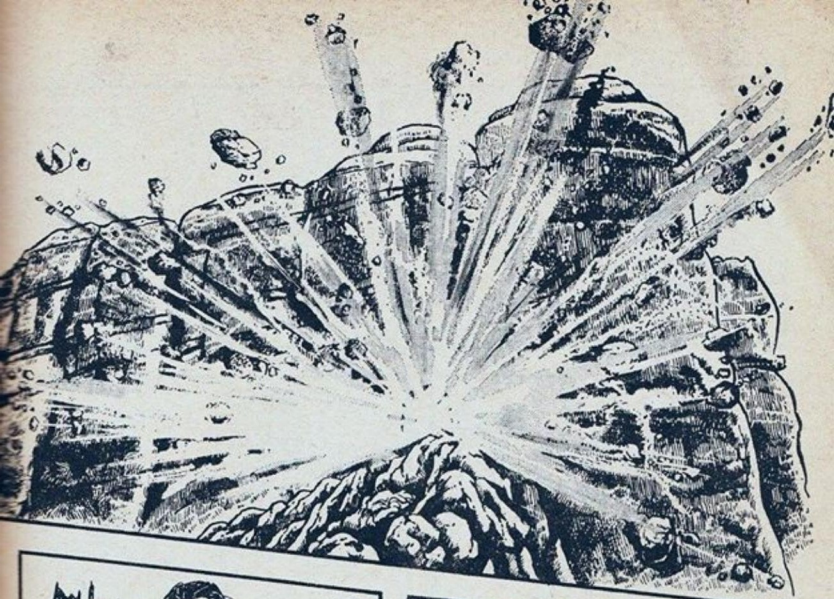














なんだ!?

なんだ…
あれは?

あッ
あれは！



自由の
女神だ！



うわっはっは
知っていると
知っていると
みんな
知っている！



二千年？

テイラー
どうして
あれを知っ
てるんだ

人間だ……
人間の文化
の遺産だ
……
おそらく
二千年前
のものだ







人間は
繁栄するだろう
しかし見ていたまえ
確実になれわれより
早く滅ぶ……

どうして人間に
自由を
与えたんです
長官……





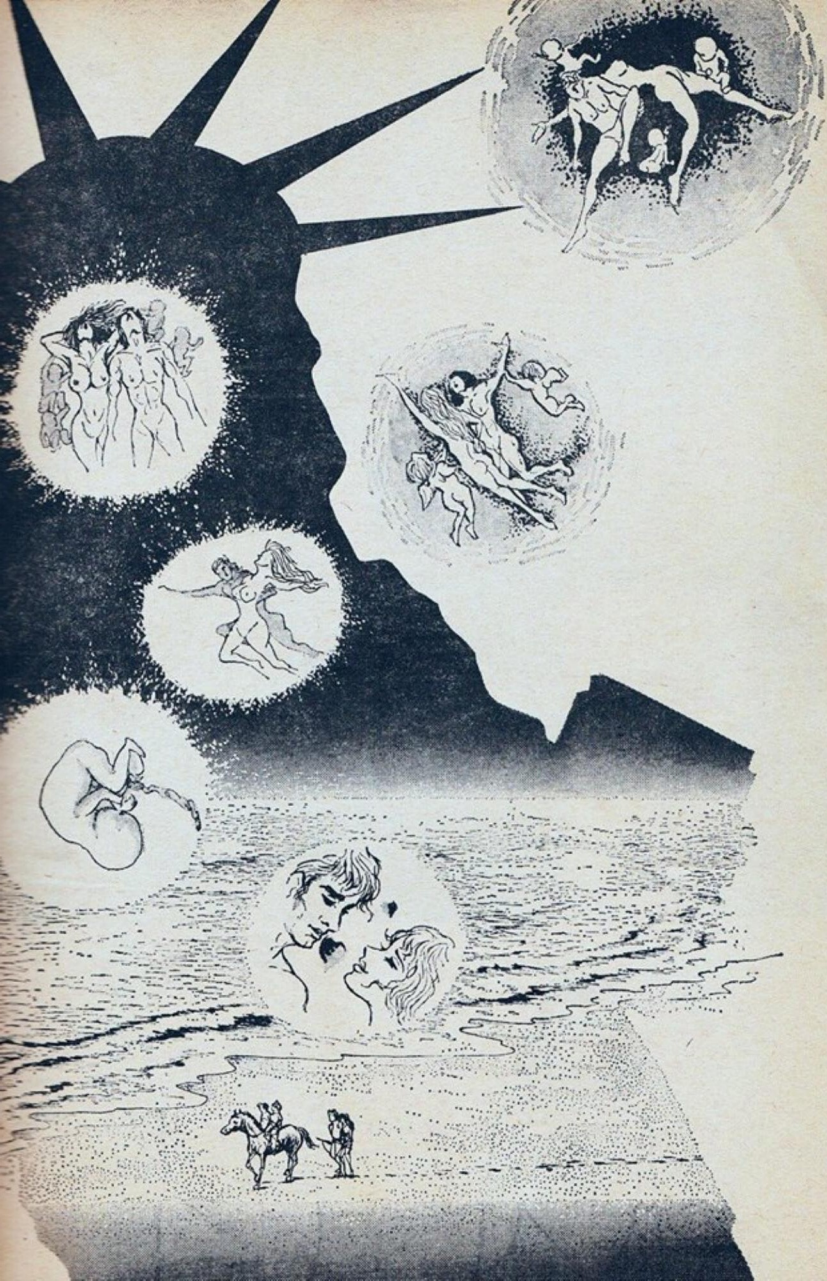
ジーラ

テイラーのおかげで
無罪と将来の約束を
されたね

でも

失ったものは
はるかに大きいわよ







人類の歴史は

ここに新たに始まるのである……



END

作者雑感

黒田みのる



漫画天国編集部から「猿の惑星」の劇画化の話が持ち込まれたとき、映画と劇画とは、いろいろの点でよく似たところがあるが、反面、表現方法が、まるで異なる点も多く、映画の面白さやこまで表わせるか、非常に難しいようにして、映画の骨子をはずれないようにして、あとは自由にストーリーをつくりかえる……脚色と言う意味より再構成……この事を承知してもらって取りかかることにしました。

はじめは週刊誌の原稿の合間をぬって取り組みましたが、牛歩に似て細切りのばすこと三度におよび、編集部の担当者をやキモキさせ続けました。

その間、こりや大変なものを引き受けたわいと頭をいためたものの、企画がいにだけに適当に描くこともならず、つくづく後悔したものです。

そんなこんなの水、やっと出来上がったのがこの本です。

読み返してみると映画とは似ても似つかぬものになってしまいました。とくに

角一百五十枚書き下しは、いん、いんという実感で一杯です。

いん、いん……だが、なんだかんと言っても、一編二百五十枚も描くとすれば、作者の姿がいやでも全部さらけ出されてしまう。

読者のみなさんに見苦しくないように面白くあるようにと気を配りながらの長丁場を描き綴ることは劇画職人として、今まで短編で味わったことない足元の心もとなさ、つらさを感じ……終って、いん、いんという言葉がピッタリとなつてしまいました。

しかし一方では、大型化・長編化の傾向にある劇画の今後を占う試金石としての役割をささやかではあります。この本でやらせて頂いたという自負に、開拓者の満足感を覚えていることも事実であります。

作品は悔惜の念多きつたないものではあります。……

さてこの本を出すにあたって色々とお話を聞いて下さった版元・芸文社、がままを聞いて下さった版元・芸文社、

それに上石氏をはじめとする編集部のみなさんに感謝し、読者のみなさんには長編もので、またお会い出来ることを楽しみに筆をおきます。

*

最後にこの作品を創るにあたって総力を結集してくれた私の誇るベキスタッフ一同のタリ言を、披露させて置きます。

*

初の長編劇画の密を描きおえ、責任を果たした満足感で一杯です。

大沼 密



*

この作品は一つのジャンルを切り開いたのではないかと……いま自負の境地です。

桑原 正治



*

描いていて自分が猿に似てきたのではと……

くわする修二



長かったわあ……

*



古出 幸子

編集後記 昨夏この本曾有大作を企画し、秋から本格的に着手したのですが、

幾多の予想外の難関があつて、予定通りの進行ができなかつた。そのため、読者のみなさまに多大なご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。と同時にみなさまの本作品に対する読後感などの、ご批評を聞きたいと存じます。

また、この作品の制作にあたって、側面から協力くださった20世紀FOX(映画)映画会社、および同社の吉沢利夫氏に深甚なる謝意を申し述べたいと存じます。(K)

●怪奇SF劇画

猿の惑星 (漫画天国臨時増刊号)

著者/黒田みのる 著者無検印承認

昭和46年6月7日発行 定価200円 ©1971

発行所/101 東京都千代田区神田駿河台3の5 (三武ビル)

株式会社 芸文社

TEL東京 (292) 0121~3 (営業局代表)

編集人/上石 弘 発行人/井上洋二

印刷所/大日本印刷株式会社



無敵の戦闘機

ゼロファイター

■ 至急お近くの書店
または直接本社に
ご予約またはご注文
文して下さい。

その栄光と悲劇の生涯を再現する書下し長編！

■ 大戦時、米・中空軍を威圧し、空の王者として君臨しつづけた零戦と、主任設計者堀越二郎氏との宿命的な出会いから、その完成、活躍までの半生にわたる苦闘を克明なタツチで描いた、新刊初の迫真の実録劇画大作！

零

ゼロファイター

戦の記録

三沢 伸

脚色
構成

原作 堀越 二郎

光文社刊 零

戦
より

(カッパ・ブックス)

超特価 230円 (送料95円)

B5版 豪華愛蔵版
多色刷口絵40頁 総ページ250頁余

● 東京都千代田区神田駿河台3の5 三五ビル ● 振替・東京9359

トキヲナシテハ
10000
ドキュメント
の
成る

猿が人間を支配する世にもサイケでショックな事実!!

大宇宙230光年のかなたにある 想像を絶した恐怖の
惑星ですごした地球人探検隊長の異常な体験!!

